

# 資料編

全日本病院協会定款／314、補助金事業／324、全日病の出版物／326、事務局関係／326、会員数の推移／327、委員会の変遷／328、全日病学会開催地一覧／336、叙勲および褒章受章者／339、歴代役員一覧／340、支部長一覧／346、全日本病院協会の50年の歩み——年表／350

社団法人  
全日本病院協会定款

(附・同施行細則)

社団法人全日本病院協会

# 社団法人 全日本病院協会定款

## 第1章 名称及び事務所

### (名称)

第1条 この会は、社団法人全日本病院協会（英文名All Japan Hospital Association略称AJHA）という。

### (事務所)

第2条 この会は、事務所を東京都千代田区三崎町3丁目7番12号清話会ビル内に置く。

## 第2章 支部及び支部連合

### (支部)

第3条 この会は、各都道府県に支部を置く。

### (支部連合)

第4条 この会は、別に定める都道府県ブロックごとに、当該ブロックに含まれる都道府県の支部からなる支部連合を置くことができる。

## 第3章 目的及び事業

### (目的)

第5条 この会は、日本全病院の一致協力によって病院の向上発展とその使命遂行とを図り、社会の福祉増進に寄与することを目的とする。

### (事業)

第6条 この会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- 1 わが国の社会保障制度、医療制度その他病院に係る諸制度の調査研究に関すること
- 2 病院の管理運営及び病院施設の改善向上並びに調査研究に関すること
- 3 病院資質の向上、医師の実務的、理論的及び倫理的な教育研修並びにその他病院関係職員の教育指導及び養成確保に関すること
- 4 病院の公衆衛生及び地域社会活動に関すること
- 5 税制、金融その他病院財政一般に関すること
- 6 病院事業の国際的活動に関すること
- 7 病院事業に関して、政府その他の関係機関並びに団体との連絡協議に関すること
- 8 学術研修、学会及び病院大会に関すること
- 9 病院機能評価に関すること
- 10 機関紙その他定期刊行物の発行等並びに病院の広報活動に関すること
- 11 その他この会の目的達成のため必要な事業に関すること

## 第4章 会 員

### (会員の資格)

第7条 この会は、この会の目的及び趣旨に賛同した病院の管理者又は医師である開設者若しくはその病院より代表者として選任された医師をもって会員とする。ただし、1病院につき会員数は1名とする。

### (入会)

第8条 この会に入会しようとする者は、所定の入会申込書を当該病院の所在する都道府県の支部（以下「所属支部」という。）を経由して、会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事会の定めるところにより、常任理事会の承認をもって前項に規定する承認とすることができる。

#### (記載事項変更の届出)

第9条 会員は、入会申込書の記載事項に変更があったときは、速やかに、所属支部を経由して、会長に届け出なければならない。

#### (退 会)

第10条 会員は、退会しようとするときは、所定の退会届を所属支部を経由して、会長に提出しなければならない。

2 会員は、次の場合退会したものとみなす。

- (1) 会員たる資格を喪失したとき
- (2) 2年以上会費を納入しないとき

#### (会 費)

第11条 会員は、総会の議を経て、別に定める会費を納入しなければならない。

#### (臨時会費)

第12条 会長は、緊急やむを得ない事情があると認めたときは、代議員会の承認を得て、臨時会費を徴収することができる。

#### (既納会費及び拠出金)

第13条 既納の会費又は拠出金は、その理由の如何を問わずこれを返還しない。

#### (戒告又は除名)

第14条 会員がこの会の名誉を毀損し、この会の目的に反するような行動をし、又はこの会の定款に違反したときは、会長は、倫理委員会に諮り、理事会の議決を経て、戒告又は除名することができる。

## 第5章 役 員

#### (役員の種類)

第15条 この会に、次の役員を置く。

- |     |                     |
|-----|---------------------|
| 会 長 | 1名                  |
| 副会長 | 3名以内                |
| 理 事 | 若干名（うち若干名を常任理事とする。） |
| 監 事 | 3名                  |

2 会長および副会長は、理事の中から選出されるものとする。

#### (役員の仕事)

第16条 会長は、この会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故あるときは予め会長の定めた順位により、その職務を代理する。
- 3 理事は、理事会を組織し、業務を執行する。
- 4 常任理事は、会長の指示を受けて、常務を掌理し、会長及び副会長がともに事故あるときは、会長が指名した者が会長の職務を代理する。
- 5 監事は、民法第59条の職務を行う。監事は、理事会、常任理事会及び代議員会に出席し、意見を述べることができる。ただし、表決に加わることはできない。

#### (役員を選出)

第17条 理事及び監事は、会員の中から代議員会において選出する。但し、監事3名のうち1名については、会員以外から、代議員会の承認を得て、会長が委嘱する。

- 2 前項の選挙は、出席代議員（代議員の職務を行う予備代議員を含む。）の投票によって決定し、書面又は代理人による投票を行うことはできない。
- 3 会長、副会長及び常任理事は、理事の互選とする。
- 4 前項の選挙は、出席理事の投票によって決定し、書面又は代理人による投票を行うことはできない。
- 5 理事及び監事は、この会の代議員又は予備代議員を兼ねることができない。

6 監事は、理事を兼ねることができない。

#### (役員任期及び解任)

第18条 役員任期は、2年とし、再任を妨げない。

- 2 役員任期は、4月1日より始まることを通例とする。
- 3 補欠により就任した役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 役員は、任期が満了しても後任者の就任するまではその職務を行う。
- 5 役員は、この会を退会したときその資格を失うものとする。
- 6 役員は、任期中といえどもこの会の名誉を毀損し又は目的趣旨に反するような行動があったときは、会長は、倫理委員会に諮り、理事会の議決を経て、解任することができる。

## 第6章 代議員及び予備代議員

#### (代議員及び予備代議員の職務)

第19条 この会に、別に定めるところにより、代議員及び予備代議員を置く。

- 2 代議員及び予備代議員の定数は同数とする。
- 3 代議員は、代議員会を組織し、この定款に定めた事項を審議する。
- 4 予備代議員は、別に定めるところにより、代議員に事故あるときに、その職務を行う。
- 5 代議員及び予備代議員は、役員を兼ねることはできない。

#### (代議員及び予備代議員の選出)

第20条 代議員及び予備代議員は、各都道府県支部ごとに会員のうちから選出し、所定の期日までに会長に報告しなければならない。異動があった場合も同様とする。

- 2 代議員及び予備代議員の任期は、2年とする。
- 3 代議員及び予備代議員の任期は、4月1日より始まることを通例とする。
- 4 補欠により就任した代議員及び予備代議員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### (代議員会の議長及び副議長)

第21条 代議員会には、議長1名及び副議長2名を置く。

- 2 議長及び副議長は、代議員の互選により選出する。
- 3 前項の選挙については、第17条第2項の規定を準用する。
- 4 議長及び副議長の任期は、代議員の任期とする。
- 5 議長は代議員会を主宰する。
- 6 副議長は議長を補佐し、議長に事故あるときはその職務を代行する。
- 7 議長及び副議長は、理事会及び常任理事会に出席し意見を述べることができる。ただし、表決に加わることはできない。
- 8 議長及び副議長は、任期が満了しても後任者の就任するまではその職務を行う。

## 第7章 名誉会長、名誉会員、顧問及び参与

#### (名誉会長)

第22条 この会に、名誉会長を置くことができる。

- 2 名誉会長は、多年会長の職にあつて、この会に顕著な功労のある者を総会の承認を得て、推戴する。

#### (名誉会員)

第23条 この会に、名誉会員を置くことができる。

- 2 多年本会の会員にして功労ある者に総会の承認を得て、名誉会員の称号を与えることができる。

#### (顧問)

第24条 この会に、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、この会に功労のあった者の中から代議員会の承認を得て、会長が委嘱する。ただし、その任期は役員の任期と同じとする。
- 3 顧問は、会長の要請に応じ会議に出席し、意見を述べることができる。ただし、表決に加わることができない。

**(参 与)**

第25条 この会に、参与を置くことができる。

- 2 参与は、学識経験者の中から代議員会の承認を得て、会長が委嘱する。ただし、その任期は役員の任期と同じとする。
- 3 参与は、会長から意見を求められた場合、会議に出席し意見を述べるができる。ただし、表決に加わることができない。

## 第8章 委 員 会

**(倫理委員会)**

第26条 この会に、第14条及び第18条第6項に規定する事項を審議するために、倫理委員会を置く。

- 2 倫理委員会に必要な事項は別に定める。

**(委 員)**

第27条 会長は、事業達成のため必要な部会又は委員会を理事会の承認を得て設置し、その会を構成する委員を会員又は会員以外の者に委嘱することができる。

- 2 委員は、会長から委託された事項を処理する。

## 第9章 会 議

**(会議の種類)**

第28条 会議は、総会、代議員会、理事会及び常任理事会の4種とする。

**(総会の種類及び開催時期)**

第29条 総会は、定期総会及び臨時総会の2種とする。

- 2 定期総会は毎年2回、臨時総会は必要ある場合に、会長が招集し、会長がその議長となり、副議長を指名する。
- 3 会員の3分の2以上から会議の目的を記載した書面により、臨時総会招集の請求があったときは、会長は、30日以内にこれを招集しなければならない。

**(代議員会の種類及び開催時期)**

第30条 代議員会は、定期代議員会及び臨時代議員会の2種とする。

- 2 定期代議員会は毎年2回、臨時代議員会は必要ある場合に、会長が招集する。
- 3 代議員の3分の2以上から会議の目的を記載した書面により、臨時代議員会招集の請求があったときは、会長は、20日以内にこれを招集しなければならない。

**(理事会の種類及び開催時期)**

第31条 理事会は、定期理事会及び臨時理事会の2種とする。

- 2 定期理事会は毎年4回開催し、臨時理事会は、会長が必要と認めるとき随時これを招集し、会長が議長となる。
- 3 理事の3分の2以上から会議の目的を記載した書面により、臨時理事会招集の請求があったときは、会長は、20日以内にこれを招集しなければならない。

**(常任理事会)**

第32条 常任理事会の運営は、別に定めるところによる。

**(会議の定足数)**

第33条 会議は、その会議を構成する会員、代議員又は役員の過半数の出席がなければこれを開会する

ことができない。

- 2 前項の出席数の算定に当たっては、所定の委任状による会員、代議員又は役員への委任は、委任状1通につき、会員、代議員又は役員1名の出席とみなす。ただし、役員、代議員会議長及び副議長の選出の場合を除く。

#### (会議の議決)

第34条 会議の議事は、この定款に別に定めのある場合の外、出席者の過半数の同意をもってこれを決する。可否同数のときは、会議の議長がこれを決する。

#### (書面表決)

第35条 やむを得ない理由のため会議に出席できない会員又は役員は、予め通知された事項についてのみ書面をもって表決に加わることができる。

- 2 代議員及び予備代議員の書面表決については、別に定めるところによる。

#### (書面審理)

第36条 会長又は代議員会議長は、簡単な事項又は緊急を要する事項（役員、代議員会議長及び副議長の選出を除く。）については、書面をもって賛否を求めることができる。

- 2 前項の場合において、会員、代議員又は役員の書面による意思表示が得られた場合には、これをもって会議に代えることができる。
- 3 第1項の場合において、書面により付議した事項は、書面の過半数の同意をもってこれを決する。可否同数の場合は、会長又は代議員会議長がこれを決する。

#### (総会付議事項)

第37条 総会には、次の各号を掲げる事項を付議し、その承認又は議決を得なければならない。

- (1) 収支予算
- (2) 収支決算
- (3) 事業計画
- (4) 定款の変更
- (5) 会長が特に付議した事項
- (6) その他この定款に規定のあるもの

- 2 次の事項は、総会に報告しなければならない。

- (1) 代議員会における付議事項
- (2) 事業報告

#### (代議員会付議事項)

第38条 代議員会には、次の各号を掲げる事項を付議し、その承認又は議決を得なければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りでない。

- (1) 総会付議事項
- (2) 理事会において必要と認めた事項
- (3) 借入金（年度内において償還するものを除く。）に関する事項
- (4) その他この定款に規定のあるもの

- 2 前項ただし書の場合、次の代議員会においてその承認を得なければならない。

#### (理事会付議事項)

第39条 理事会には、次の各号に掲げる事項を付議し、その承認、認定又は議決を得なければならない。

- (1) 収支予算及び収支決算
- (2) 事業計画
- (3) 会長が特に付議した事項
- (4) その他この定款に規定のあるもの

#### (常任理事会付議事項)

第40条 常任理事会には、次の各号に掲げる事項を付議し、その承認又は議決を得なければならない。

- (1) 総会及び理事会で委任を受けた事項
- (2) 理事会の議決事項で、会長が特に緊急を要すると認めた事項

- 2 前項の規定により議決した場合は、次の理事会においてこれを報告し、その承認を得なければならない。



## 第10章 資産及び会計

### (資産の構成)

第41条 この会の資産は、次の各号に掲げるものにより構成される。

- (1) 設立当初寄付された別紙財産目録記載の財産
- (2) 会費及び寄付金
- (3) 事業に伴う収入
- (4) その他の収入

### (資産の管理)

第42条 この会の資産は、理事会の議決を経て、会長がこれを管理する。

- 2 資産のうち現金は、郵便官署、确实なる銀行又は信託会社に預入、若しくは信託し、又は国債その他确实な有価証券に替え保管するものとする。

### (経費の充当)

第43条 この会の経費は、資産をもって支弁する。

### (借入れ)

第44条 この会は、出納上必要があるときは、金銭の借入れをすることができる。

### (剰余金の処分)

第45条 年度末において剰余金を生じたときは、代議員会の議決を経て、その全部若しくは一部を翌年度に繰越すか、又は積立金として積立てるものとする。

### (予算及び決算)

第46条 この会の毎年度の歳入歳出の予算は、年度開始前に理事会の認定を経て、代議員会及び総会の議決を得るものとし、歳入歳出決算は、事業年度終了後2ヵ月以内に、その年度末財産目録と共に、監事の監査を経て、理事会の承認に付し、代議員会及び総会の承認を求めるものとする。

### (特別会計)

第47条 この会は、代議員会の議決を経て、特別会計を設けることができる。

### (事業年度)

第48条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

## 第11章 事務局

### (設置)

第49条 この会の事務を処理するため、事務局を設置する。

### (組織)

第50条 事務局に、事務局長及び必要な職員を置く。

- 2 事務局の組織は、理事会の議を経て、会長が別に定める。
- 3 事務局長は、会長の命を受け、事務局を指揮する。

### (任免)

第51条 会長は、理事会の承認を経て、事務局長の任免を行う。

- 2 事務局の職員の任免は、理事会の議を経て、別に定めるところにより、会長がこれを行う。

## 第12章 定款の変更及び解散

### (定款の変更)

第52条 この定款は、総会において出席者4分の3以上の同意による議決を経て、厚生大臣の認可を得なければこれを変更することができない。



(解 散)

第53条 この会は、民法第68条に規定する場合、総会において総会員の4分の3以上の同意による議決を経て、厚生大臣の認可を得て解散することができる。

(解散残余財産の処分)

第54条 前条により解散した時の残余財産は、代議員会の議決を経、かつ、厚生大臣の許可を得て、この会の類似の目的を持つ団体に寄付するものとする。

(施行細則)

第55条 この定款施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、会長がこれを定める。

## 附 則

1 この定款は、昭和55年6月23日から施行する。

改正・昭和56年12月22日

改正・昭和60年9月10日

改正・平成元年10月17日

改正・平成11年4月23日

2 第3条の規定による支部が置かれていない都道府県においては、支部が置かれるまでの間、第8条から第10条までの規定中「所属支部を経由して、会長」とあるのは、「会長」とする。

別紙

## 財 産 目 録

財産総額 500,000円也

内訳

種 類	金 額	所 在 地	寄 付 者 氏 名
一、流動資産	円		
一、現 金	500,000	大阪市天王寺区上本町 3丁目33番地	全日本病院協会
普通預金	150,000	大阪府医師会館内	会長 小澤凱夫
通知預金	150,000		
定期預金	200,000		

## 社団法人 全日本病院協会 定款施行細則

### (都道府県ブロックの区分)

第1条 全日本病院協定会款（以下「定款」という。）第4条の規定による都道府県ブロックの区分は、別表1による。

### (病院の定義)

第2条 定款第7条の規定による病院とは、原則として医療法に定められた病院とする。

### (入会申込書の様式)

第3条 定款第8条の規定による入会申込書は、別記第1号様式（略）による。

### (記載事項変更届の様式)

第4条 定款第9条の規定による記載事項変更届は、別記第2号様式（略）による。

### (退会届の様式)

第5条 定款第10条の規定による退会届は、別記第3号様式（略）による。

### (会費)

第6条 定款第11条の規定による会費は、総会の決定による。

2 会費の中には、ヘルスシリーズ及び全日病ニュース購読料を含むものとする。

3 会員の経営する病院が火災、風水害及び地震等により甚大な被害を蒙ったときは、理事会の議決を経て、会費を減免することができる。

### (理事及び常任理事の数)

第7条 理事の数は50名以上55名以内とし、そのうち常任理事の数は20名以内とする。

### (理事、監事、代議員会議長及び副議長の選出)

第8条 定款第17条第1項の規定による理事及び監事並びに定款第21条の規定による代議員会議長及び副議長の選出は、本条の定めるところによる。

2 選挙の告示は、選挙期間の2ヵ月前に会長が行う。

3 理事及び監事並びに代議員会議長及び副議長に立候補しようとする者は、所定の期日までに、会員3名以上の推薦状を付して、別記第4号様式（略）により、会長に立候補の届出をしなければならない。

4 前項の規定による立候補の届出の締切は、選挙期日の4週間前とし、会長は選挙期日の2週間前までに、立候補者の氏名を会員に通告しなければならない。

5 理事及び監事は、立候補届出のあった者のうちから代議員会において選出する。

6 選出方法は、代議員会議長がこれを定める。

7 代議員会議長は、代議員のうちから3名の選挙立会人を指名し、投票及び開票に立ち合わせなければならない。

8 選挙に当たり届出のあった候補者がその定数を超えないときは、投票によらないで決定する。ただし、定数に充たないときは、代議員会の決定により残余の数について代議員会で選出することができる。

### (会長、副会長及び常任理事の選出)

第9条 定款第17条第3項の規定による会長、副会長及び常任理事の選挙は、理事会において行う。

2 投票用紙の様式は、理事会において決定する。

3 選挙は、理事のうちから選挙管理人を選出して行う。

4 選挙管理人は、理事のうちから2名の選挙立会人を指名し、投票及び開票に立ち合わせなければならない。

### (代議員及び予備代議員の選出)

第10条 定款第19条第2項の規定による代議員及び予備代議員の定数は、各都道府県の支部ごとの会員に応じて、次のとおりとする。

会員が30名以内の支部 1

会員が31名以上50名以内の支部 2

会員が51名以上の支部会員数を50で除して得た数に1を加えた数とし、この数に端数がある場合には、これを切り上げて得た数とする。

2 算出基礎となる会員数は、改選前年の10月31日現在数とする。会員数に増減があっても、代議員数は次の改選期まで変更しない。

#### (予備代議員の職務)

第11条 定款第19条の規定による予備代議員は、予め指定された代議員に代わってその職務を行う。

#### (常任理事会の運営)

第12条 定款第32条の規定による常任理事会の運営は、理事会の議を経て、会長がこれを定める。

#### (委任状の様式)

第13条 定款第33条第2項の規定による委任状は、別記第5号様式(略)による。

#### (代議員及び予備代議員の書面表決)

第14条 定款第35条第2項の規定により代議員が書面表決を行う場合は、代議員がやむを得ない理由のため会議に出席できない場合であって、予備代議員も会議に出席できない場合に限り、予め通知された事項についてのみ書面をもって表決に加わることができる。

2 定款第35条第2項の規定により予備代議員が書面表決を行う場合は、やむを得ない理由のため代議員に代わって会議に出席できない場合であって、代議員が書面をもってその意見を表すことができない場合に限り、予め通知された事項についてのみ、書面をもって表決に加わることができる。

#### (賛助会員)

第15条 この会の趣旨に賛同して入会を希望する法人又は個人は、理事会の承認を得て、賛助会員となることができる。

2 賛助会員の会費は、別に定めるところによる。

## 附 則

1 この施行細則は、昭和55年6月23日から施行する。

改正・昭和58年5月28日(第11条賛助会員の会費)

改正・平成2年1月25日

改正・平成3年1月24日(第8条6項)

改正・平成7年3月11日(第6条)

### 別表1

地区名	都道府県名
北海道地区	(北海道)
東北地区	(青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島)
関東地区	(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川)
甲信越地区	(山梨・長野・新潟・富山・石川・福井)
東海地区	(岐阜・静岡・愛知・三重)
近畿地区	(奈良・滋賀・大阪・兵庫・和歌山・京都)
中・四国地区	(鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知)
九州地区	(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

# 補助金事業

## 平成12年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・医療供給体制に関する研究（主任研究者）佐々英達会長（期間）平成12年度より3年間（1年目）

## 平成13年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・医療供給体制に関する研究（主任研究者）佐々英達会長（期間）平成12年度より3年間（2年目）

## 平成14年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・医療供給体制に関する研究（主任研究者）佐々英達会長（期間）平成12年度より3年間（3年目）

## 平成15年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・ケースミックス、医療原価測定を用いた医療パフォーマンスの評価に関する研究（主任研究者）佐々英達会長（期間）平成15年度より3年間（1年目）
- ・電子カルテ導入における標準的な業務フローモデルに関する研究（主任研究者）飯田修平常任理事（期間）平成15年度より2年間（1年目）

## 平成16年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・ケースミックス、医療原価測定を用いた医療パフォーマンスの評価に関する研究（主任研究者）佐々英達会長（期間）平成15年度より3年間（2年目）
- ・電子カルテ導入における標準的な業務フローモデルに関する研究（主任研究者）飯田修平常任理事（期間）平成15年度より2年間（2年目）

## 平成17年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・ケースミックス、医療原価測定を用いた医療パフォーマンスの評価に関する研究（主任研究者）佐々英達会長（期間）平成15年度より3年間（3年目）
- ・医療事故発生後の医療機関の対応と紛争解決に関する研究（主任研究者）佐々英達会長（期間）平成17年度より2年間（1年目）
- ・医療情報システムを基盤とした業務フローモデルによる医療の質と安全性の評価に関する研究（主任研究者）飯田修平常任理事（期間）平成17年度より2年間（1年目）

### 【経済産業省委託事業】

- ・平成17年度サービス産業人材育成事業（医療機関トップマネジメント人材教育カリキュラム開発プロジェクト）（プロジェクトリーダー）徳田禎久理事（期間）平成17年度

## 平成18年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・医療の質向上に資するアウトカム評価モデルの開発に関する研究（主任研究者）佐々英達会長（期間）平成18年度より3年間（1年目）
- ・医療情報システムを基盤とした業務フローモデルによる医療の質と安全性の評価に関する研究（主任研究者）飯田修平常任理事（期間）平成17年度より2年間（2年目）

### 【経済産業省委託事業】

- ・平成18年度サービス産業人材育成事業（医療経営人材育成に関する運営支援事業）（プロジェクトリーダー）徳田禎久理事（期間）平成18年度

## 平成19年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・医療の質向上に資するアウトカム評価モデルの開発に関する研究  
（主任研究者）佐々英達名誉会長 （期間）平成18年度より3年間（2年目）

### 【厚生労働省委託事業】

- ・短時間正社員制度導入推進事業（運営委員会委員長）大橋正實常任理事（期間）平成19年度

### 【経済産業省委託事業】

- ・平成19年度サービス産業人材育成事業（医療機関トップマネジメント教育ケーススタディ教材開発プロジェクト）  
（プロジェクトリーダー）徳田禎久常任理事（期間）平成19年度
- ・サービス産業生産性向上支援調査事業（サービスプロセス改善事例開発）  
（事業プロジェクト名）「病院における施設・設備管理（Facility Management：FM）の導入による経営効率の改善 —とくに、環境・省エネルギーへの配慮—」  
（プロジェクトリーダー）猪口雄二副会長（期間）平成19年度

## 平成20年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・医療の質向上に資するアウトカム評価モデルの開発に関する研究  
（主任研究者）佐々英達名誉会長（期間）平成18年度より3年間（3年目）

## 平成21年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・手術室における多職種間の連携を担保する業務プロセスの再構築によるリスク軽減と評価方法の確立と質保証に基づく安全確保に関する研究（主任研究者）飯田修平常任理事（期間）平成21年度より2年間（1年目）

### 【厚生労働省補助金事業】

- ・認知症を持つ要介護高齢者への適切な医療・ケア体制の構築に関する調査研究事業  
（事業運営委員会委員長）木下毅常任理事（期間）平成21年度

### 【経済産業省委託事業】

- ・平成21年度サービス産業生産性向上支援調査事業（事業委員会委員長）神野正博副会長（期間）平成21年度

## 平成22年度

### 【厚生労働科学研究費補助金事業】

- ・手術室における多職種間の連携を担保する業務プロセスの再構築によるリスク軽減と評価方法の確立と質保証に基づく安全確保に関する研究（主任研究者）飯田修平常任理事（期間）平成21年度より2年間（2年目）
- ・ケースメソッドを利用した、医療機関経営に関わる専門人材の養成・能力開発プログラムの開発と実証に関する研究  
（主任研究者）徳田禎久常任理事（期間）平成22年度より2年間（1年目）

### 【厚生労働省補助金事業】

- ・医療の質の評価・公表等推進事業  
（臨床指標評価委員会委員長）飯田修平常任理事（期間）平成22年度
- ・胃瘻造設高齢者の実態把握及び介護施設・在宅における管理等のあり方の調査研究事業  
（事業運営委員会委員長）木下毅常任理事（期間）平成22年度

## 全日病の出版物

- ・病院防災ガイドブック 災害発生時における病院防災のあり方（平成13年2月発行・真興交易(株)）
- ・標準的診療録作成の手引き（平成13年10月発行・(株)じほう）
- ・標準的診療記録作成・管理の手引き（平成16年6月発行・(株)じほう）
- ・医療安全管理テキスト（平成17年8月・(財)日本規格協会）
- ・電子カルテと業務革新（平成17年10月発行・(株)篠原出版新社）
- ・RCAの基礎知識と活用事例（平成18年4月・(財)日本規格協会）
- ・医療現場からの疑問に答える個人情報保護法Q&A（平成18年11月発行・(株)じほう）
- ・病院情報システム導入の手引き（平成19年4月発行・(株)じほう）
- ・FMEAの基礎知識と活用事例（平成19年7月・(財)日本規格協会）
- ・電子カルテと業務革新【普及版】（平成20年2月発行・(株)篠原出版新社）
- ・新版 医療安全管理テキスト（平成22年7月・(財)日本規格協会）
- ・FMEAの基礎知識と活用事例 第2版（平成22年7月・(財)日本規格協会）
- ・病院における個人情報保護Q&A（平成23年3月・(株)じほう）

## 事務局関係

### 1.事務局所在地について

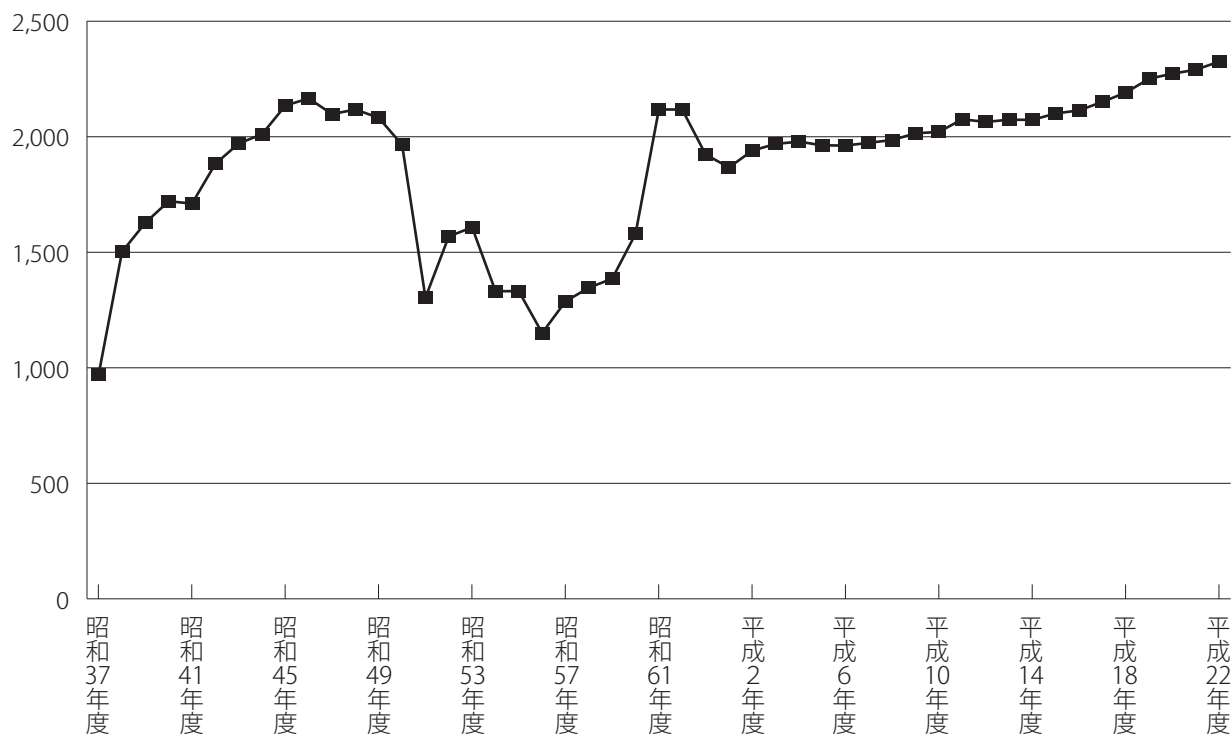
年 度	名 称	住 所
昭和37年	全日本病院協会	大阪市天王寺区上本町 3-33 大阪府医師会館内
昭和40年	〃	大阪市天王寺区上本町 3-1-9 大阪府医師会館内
昭和51年	〃	東京都文京区本郷 3-18-14 第2メディカルビル
昭和55年	〃	京都千代田区三崎町 3-7-12 清話会ビル

### 2.事務局長について

年 度	氏 名
～昭和50年度	都築小次郎
昭和51年度	高橋 伸吉
昭和57年度 (次長制度)	村松 修司 (次長) 古内 孝行
昭和60年度	加勢 實
平成元年度	本多 愿
平成5年度	千石 勝郎
平成6年度	鈴木 順二
平成13年度	小林 弘治
平成17年度	富樫 雄一
平成21年度	浦川 新



## 会員数の推移



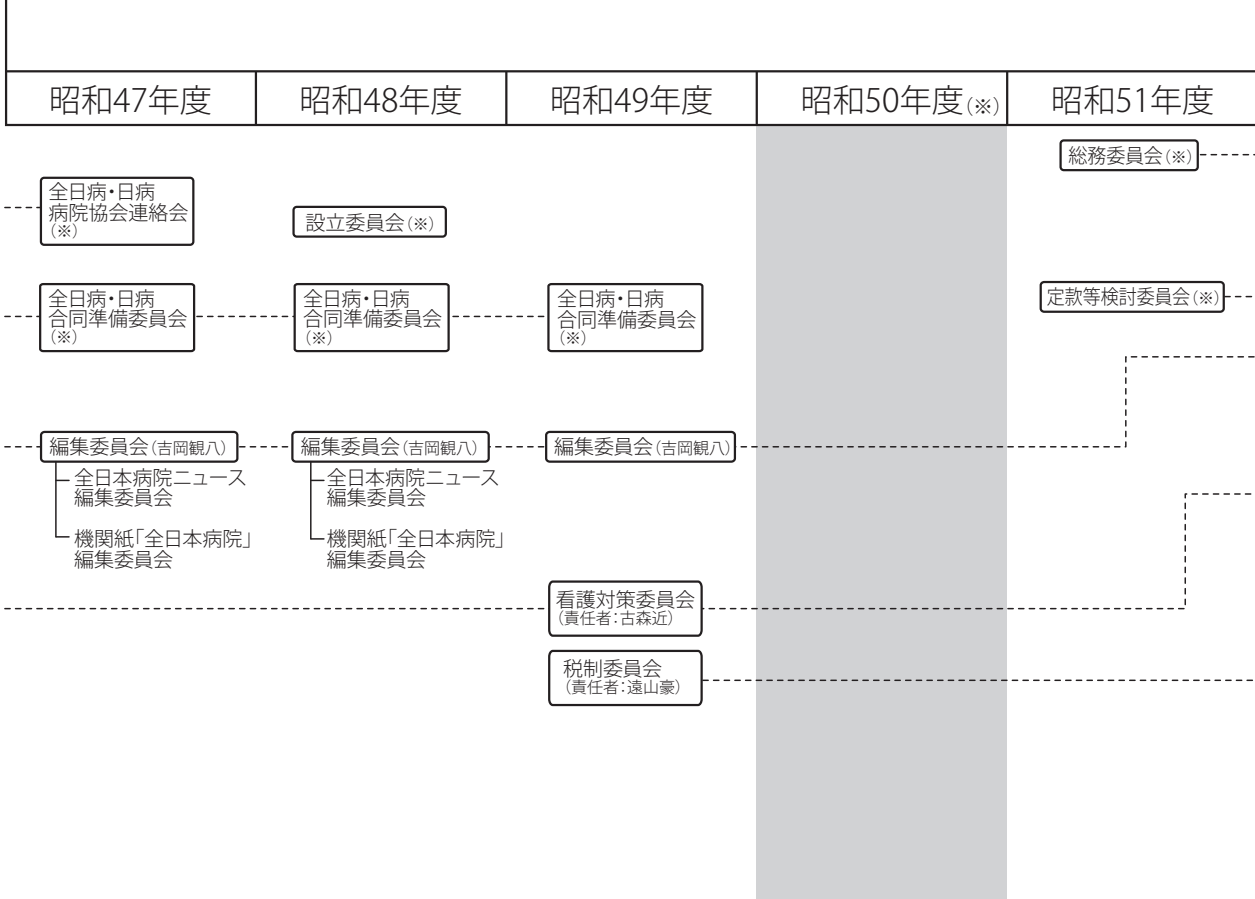
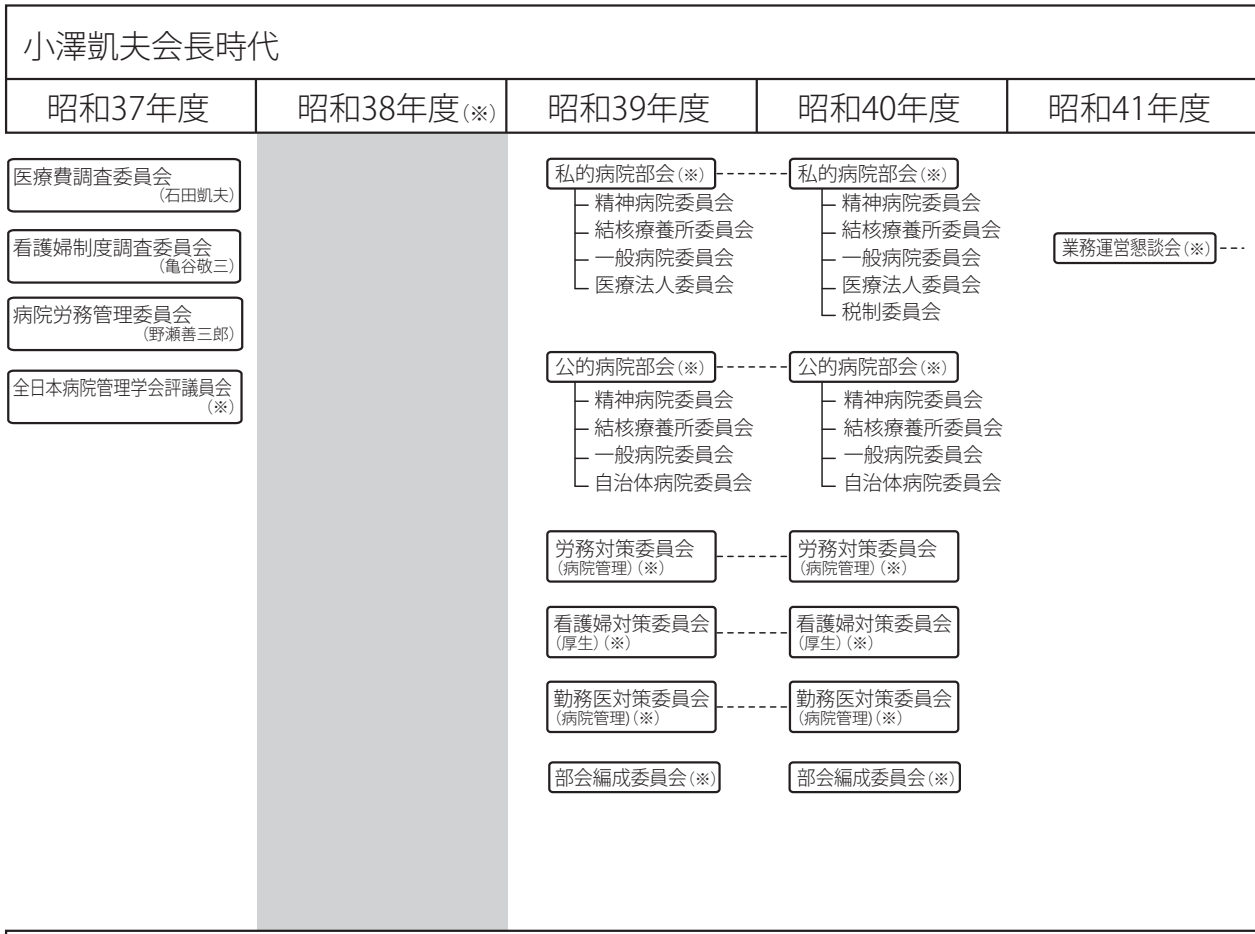
年度	会員数	賛助会員数
昭和37年度	971	
昭和38年度	1,501	
昭和39年度	1,627	
昭和40年度	1,720	
昭和41年度	1,710	
昭和42年度	1,882	
昭和43年度	1,970	
昭和44年度	2,010	
昭和45年度	2,134	
昭和46年度	2,165	
昭和47年度	2,097	
昭和48年度	2,117	
昭和49年度	2,081	
昭和50年度	1,964	
昭和51年度	1,303	11
昭和52年度	1,568	14
昭和53年度	1,607	16
昭和54年度	1,331	16
昭和55年度	1,331	16
昭和56年度	1,150	15
昭和57年度	1,287	※
昭和58年度	1,346	※
昭和59年度	1,385	30
昭和60年度	1,579	43
昭和61年度	2,117	50
昭和62年度	2,117	52
昭和63年度	1,923	52

年度	会員数	賛助会員数
平成元年度	1,866	51
平成2年度	1,939	51
平成3年度	1,968	52
平成4年度	1,978	79
平成5年度	1,962	67
平成6年度	1,961	71
平成7年度	1,973	69
平成8年度	1,985	78
平成9年度	2,014	84
平成10年度	2,020	83
平成11年度	2,075	85
平成12年度	2,063	82
平成13年度	2,073	82
平成14年度	2,072	83
平成15年度	2,100	83
平成16年度	2,113	80
平成17年度	2,150	81
平成18年度	2,190	82
平成19年度	2,250	89
平成20年度	2,272	87
平成21年度	2,289	90
平成22年度	2,324	95

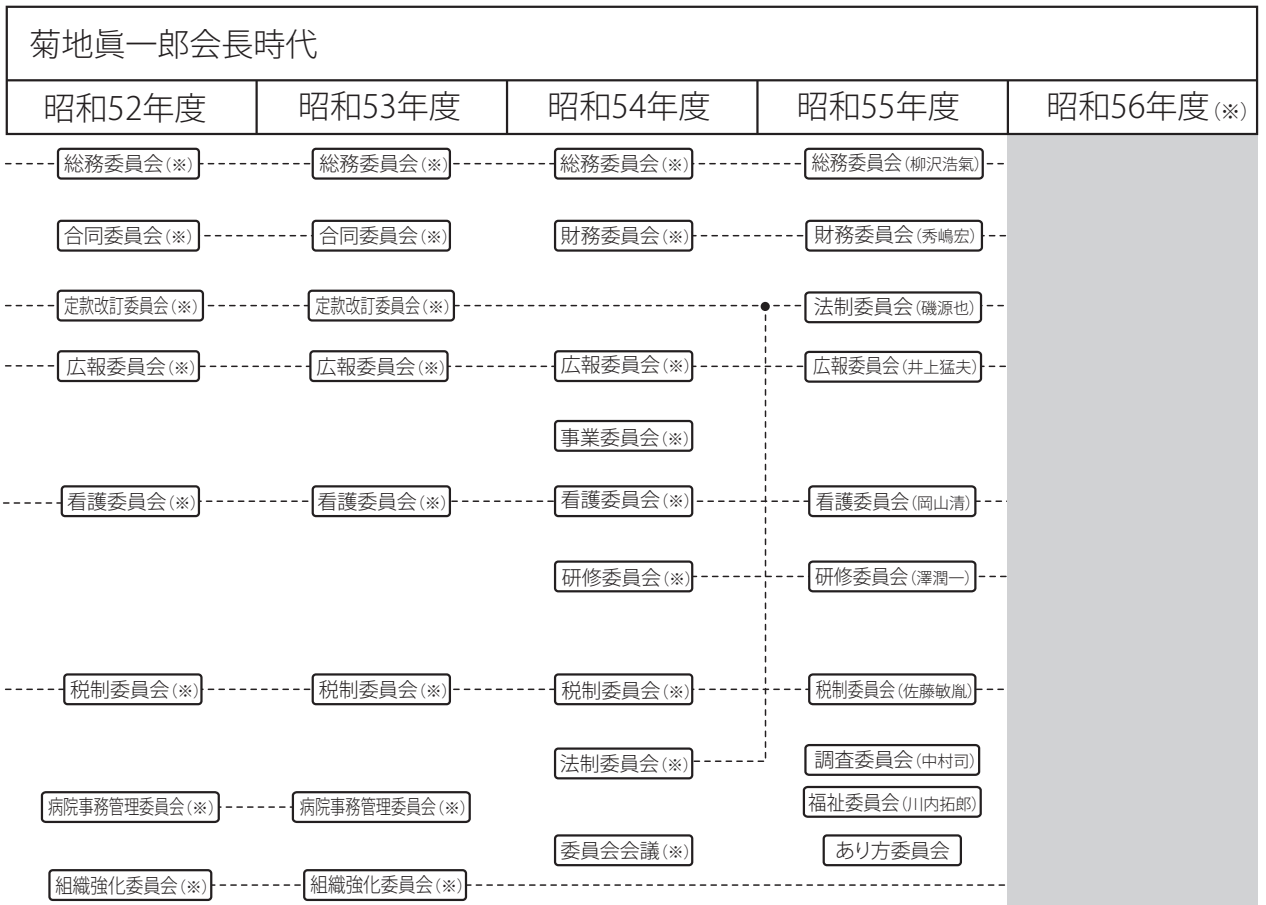
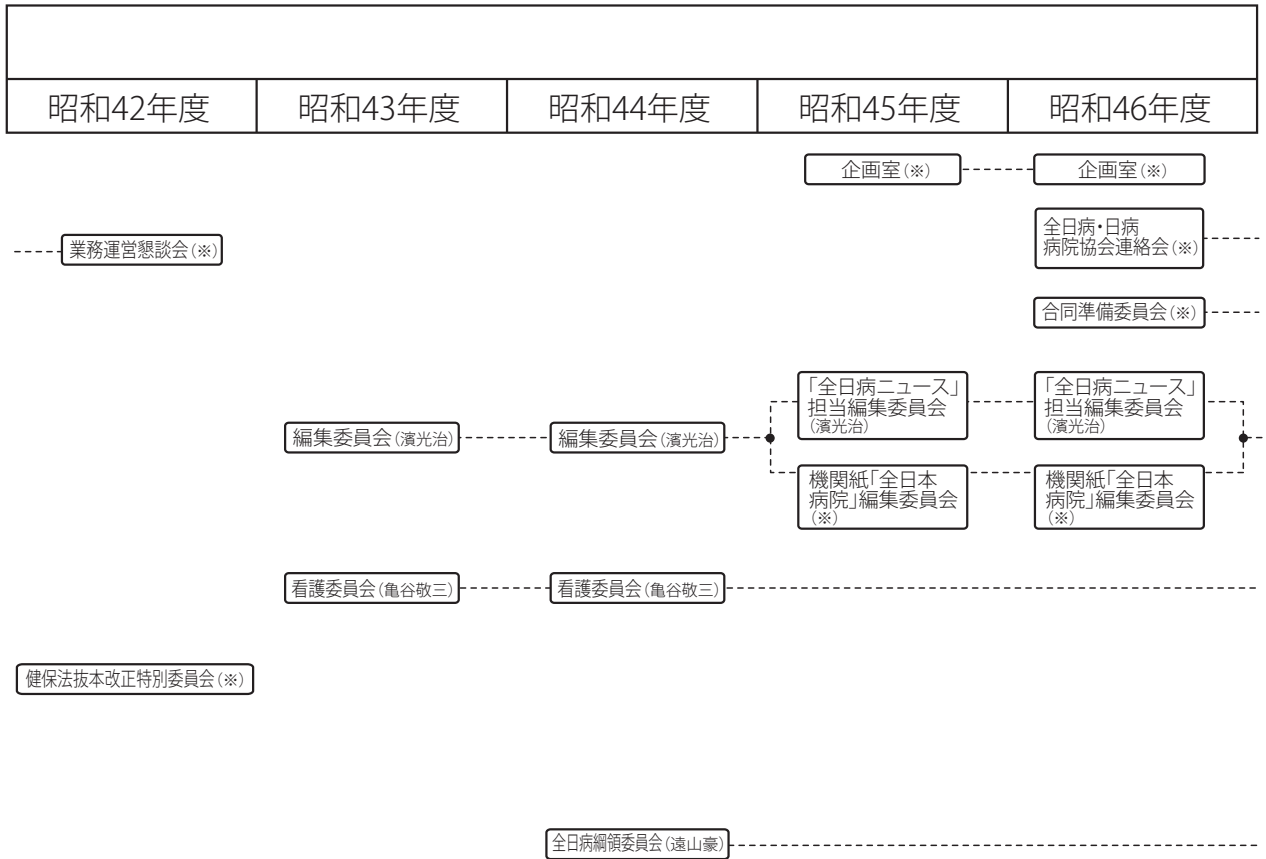
※事業報告記載なし



# 委員会の変遷



( )内は委員長、(※)事業報告記載無、



菊地眞一郎会長時代	木下二亮郎会長時代			
昭和 57 年度	昭和 58 年度	昭和 59 年度	昭和 60 年度	昭和 61 年度
総務委員会(※)	庶務委員会(中村司)	庶務委員会(中村司)		
経理委員会(※)	財務委員会(木村武)	財務委員会(木村武)		
広報委員会(※)	広報出版委員会(小林敏雄)	広報出版委員会(織田五二七)	編集委員会(川久保典一)	編集委員会(川久保典一)
	国際交流委員会(秀嶋宏)	国際交流委員会(秀嶋宏)	国際交流委員会(織田五二七)	国際交流委員会(織田五二七)
	医療保険委員会(菊田能敬)	医療保険委員会(菊田能敬)		
	医療制度委員会(内藤賢一)	医療制度委員会(内藤賢一)		
	病院経営委員会(小野田英雄)	病院経営委員会(小野田英雄)	看護対策委員会(平山登志夫)	看護対策委員会(平山登志夫)
学術委員会(※)	学術委員会(岡山清)	学術委員会(岡山清)	病院経営委員会(小野田英雄)	病院経営委員会(小野田英雄)
ドック委員会(※)	ドック委員会(平山登志夫)	ドック委員会(平山登志夫)	学術研修委員会(岡山清)	学術研修委員会(岡山清)
			ヘルス事業対策委員会(人間ドック)(平山登志夫)	ヘルス事業対策委員会(人間ドック)(平山登志夫)
	税務委員会(春山廣臣)	税務委員会(春山廣臣)	税務委員会(春山廣臣)	税務委員会(春山廣臣)
		救急医療対策委員会(川内拓郎)	救急医療委員会(春山廣臣)	救急医療委員会(春山廣臣)
医療法問題検討プロジェクト委員会(澤潤一)	医療法問題検討プロジェクト委員会(澤潤一)	医療法問題検討プロジェクト委員会(澤潤一)	福祉対策委員会(竹内翼)	福祉対策委員会(竹内翼)
医療費問題検討プロジェクト委員会(木下二亮)	医療費問題検討プロジェクト委員会(井上猛夫)	医療費問題検討プロジェクト委員会(井上猛夫)	医療法委員会(内藤賢一)	医療法委員会(内藤賢一)
	定款改正プロジェクト委員会(澤潤一)	定款改正プロジェクト委員会(澤潤一)	病院機能評価委員会(なし)	病院機能評価委員会(なし)
			流通システム委員会(秀嶋宏)	流通システム委員会(秀嶋宏)
			医療システム委員会(ニューメディア)(河北博文)	医療システム委員会(ニューメディア)(河北博文)
			組織委員会(原田正)	組織委員会(阿部士良)
	医療経済研究プロジェクト委員会(井上猛夫)	医療経済委員会(松田和雄)	医療経済委員会(松田和雄)	医療経済委員会(松田和雄)
		家庭医プロジェクト委員会(澤潤一)	家庭医プロジェクト委員会(澤潤一)	家庭医プロジェクト委員会(澤潤一)
		中間施設プロジェクト委員会(中村司)	中間施設プロジェクト委員会(中村司)	中間施設プロジェクト委員会(中村司)
	求人対策委員会(阿部士良)	求人対策委員会(川内拓郎)	求人対策委員会(川内拓郎)	求人対策委員会(川内拓郎)
労務・労災・自賠保険委員会(原田正)	労務・労災・自賠保険委員会(原田正)	労災自賠責委員会(木村武)	労災自賠責委員会(木村武)	労災自賠責委員会(木村武)
調査近代化委員会(浅井利勇)	調査近代化委員会(浅井利勇)	調査委員会(浅井利勇)	調査委員会(浅井利勇)	調査委員会(浅井利勇)
福利厚生委員会(松山静雄)	福利厚生委員会(松山静雄)		ヘルスTODAY編集委員会(※)	
勤務医委員会(宮芳久)	勤務医委員会(宮芳久)	勤務医委員会(宮芳久)	勤務医委員会(宮芳久)	勤務医委員会(宮芳久)

田時孝正会長時代

昭和 62 年度	昭和 63 年度	平成元年度	平成 2 年度	平成 3 年度
総務委員会 (秀嶋宏)	総務委員会 (秀嶋宏)	総務委員会 (秀嶋宏)	総務委員会 (秀嶋宏)	総務委員会 (早川大府)
財務委員会 (川久保典一)	財務委員会 (川久保典一)	財務委員会 (川久保典一)	財務委員会 (川久保典一)	財務委員会 (中村秀夫)
諸規定検討委員会 (山口京治)	諸規定検討委員会 (山口京治)	諸規定検討委員会 (山口京治)	諸規定検討委員会 (山口京治)	諸規定検討委員会 (山口京治)
広報委員会 (小野田英雄)	広報委員会 (小野田英雄)	広報委員会 (佐藤文男)	広報委員会 (佐藤文男)	広報委員会 (佐藤文男)
国際交流委員会 (織田五二七)	国際交流委員会 (織田五二七)	国際交流委員会 (藤原恒弘)	国際交流委員会 (藤原恒弘)	国際交流委員会 (藤原恒弘)
	医療経済研究 プロジェクト委員会 (井上猛夫)	社会保険診療 報酬検討委員会 (川内拓郎)	社会保険診療 報酬検討委員会 (川内拓郎)	
学術委員会 (岡山清)	学術委員会 (岡山清)	学術委員会 (木村佑介)	学術委員会 (木村佑介)	学術委員会 (鈴江襄治)
人間ドック委員会 (中村司)	人間ドック委員会 (中村司)	人間ドック委員会 (中村司)	人間ドック委員会 (太田舜二)	人間ドック委員会 (太田舜二)
医療従事者対策委員会 (宮芳久)	医療従事者対策委員会 (宮芳久)	医療従事者対策委員会 (宮芳久)	医療従事者対策委員会 (宮芳久)	
税制委員会 (内藤賢一)	税制委員会 (春山廣臣)	税制委員会 (春山廣臣)	税制委員会 (春山廣臣)	税制委員会 (春山廣臣)
救急委員会 (進藤和行)	救急委員会 (進藤和行)	救急委員会 (新垣哲)	救急委員会 (新垣哲)	救急委員会 (新垣哲)
福祉対策委員会 (川内拓郎)	福祉対策委員会 (川内拓郎)	福祉対策委員会 (大井田修)	福祉対策委員会 (大井田修)	福祉対策委員会 (大井田修)
医療制度委員会 (澤潤一)	医療制度委員会 (澤潤一)	医療制度委員会 (澤潤一)	医療制度委員会 (澤潤一)	
病院管理運営委員会 (河北博文)	病院管理運営委員会 (河北博文)	看護問題 プロジェクト委員会 (平山登志夫)	看護問題 プロジェクト委員会 (平山登志夫)	看護問題委員会 (看護問題婦長部会) (平山登志夫)
	流通システム プロジェクト委員会 (藤野志朗 (外部委員))	流通システム プロジェクト委員会 (秀嶋宏)	流通システム プロジェクト委員会 (秀嶋宏)	
第 2 次医療法改正に関する プロジェクト委員会 (澤潤一)	第 2 次医療法改正に関する プロジェクト委員会 (澤潤一)		医療関連ビジネス プロジェクト委員会 (内藤賢一)	医療関連サービス 委員会 (内藤賢一)
企画室 (澤潤一)	企画室 (澤潤一)	企画室 (澤潤一)	企画室 (澤潤一)	企画室委員会 (古畑正)
			会員増強 プロジェクト委員会 (※)	
医療経済委員会 (春山廣臣)	医療経済委員会 (内藤賢一)	医療経済委員会 (内藤賢一)	医療経済委員会 (内藤賢一)	
	老健施設検討委員会 (岡山清)	老人医療プロジェクト 委員会 (天本宏)	老人医療プロジェクト 委員会 (天本宏)	老人医療委員会 (津留水城)
	医療事務職技能 認定審査委員会 (田時孝正)	医療事務職技能 認定審査委員会 (田時孝正)	医療事務職技能 認定審査委員会 (田時孝正)	医療事務職技能 認定審査委員会 (※)
		情報ネットワーク委員会 (小野田英雄)	情報ネットワーク委員会 (小野田英雄)	
				自賠責問題委員会 (春山廣臣)
				給食問題委員会 (内藤賢一)
				医業経営委員会 (木村佑介) (小委員会)

秀嶋宏会長時代				
平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
総務委員会(早川大府)	総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)
財務委員会(中村秀夫)	財務委員会(川久保典一)	財務委員会(川久保典一)	財務委員会(川久保典一)	財務委員会(※)
諸規定検討委員会(山口京治)	諸規定検討委員会(山口京治)	諸規定検討委員会(山口京治)	諸規定検討委員会(山口京治)	諸規定検討委員会(山口京治)
広報委員会(佐藤文男)	広報委員会(佐藤文男)	広報委員会(佐藤文男)	広報委員会(佐藤文男)	広報委員会(佐藤文男)
国際交流委員会(藤原恒弘)	国際交流委員会(藤原恒弘)	国際交流委員会(藤原恒弘)	国際交流委員会(高木寛之)	国際交流委員会(高木寛之)
	診療報酬検討委員会(西澤真俊)	診療報酬検討委員会(西澤真俊)	診療報酬検討委員会(西澤真俊)	診療報酬検討委員会(西澤真俊)
学術委員会(鈴江襄治)	学術委員会(神尾友和)	学術委員会(神尾友和)	学術委員会(神尾友和)	学術委員会(神尾友和)
人間ドック委員会(太田舜二)	人間ドック委員会(太田舜二)	人間ドック委員会(太田舜二)	人間ドック委員会(太田舜二)	人間ドック委員会(太田舜二)
税制委員会(春山廣臣)			医療税制・制度委員会(藤原恒弘)	医療税制・制度委員会(藤原恒弘)
救急委員会(新垣哲)	救急委員会(新垣哲)	救急委員会(新垣哲)	救急委員会(新垣哲)	救急委員会(新垣哲)
福祉対策委員会(大井田修)	⇒ 福祉センター設立へ			
医療制度検討委員会(※)			看護・介護委員会(辻尚司)	看護・介護委員会(辻尚司)
看護問題委員会 (看護問題部長部会 (平山登志夫)				
	中小病院あり方委員会 (吉田静雄)	中小病院あり方委員会 (吉田静雄)	病院機能評価委員会 (吉田静雄)	病院機能評価委員会 (吉田静雄)
医療関連サービス 委員会(内藤賢一)	医療関連サービス 委員会(内藤賢一)	医療関連サービス 委員会(内藤賢一)	医療関連サービス 委員会(鈴江襄治)	医療関連サービス 委員会(鈴江襄治) ⇒ 医療関連サービス 振興会設立へ
企画室委員会(古畑正)	企画室委員会(荒木貞敬)	企画室委員会(荒木貞敬)	企画室委員会(佐々英達)	企画室委員会(佐々英達)
	医療関係者対策 委員会(平山登志夫)	医療関係者対策 委員会(平山登志夫)	在宅医療委員会(内藤賢一)	在宅医療委員会(内藤賢一)
老人医療委員会(津留水城)	老人医療委員会(津留水城)	老人医療委員会(津留水城)	公的介護保険制度委員会 (プロジェクト)(津留水城)	公的介護保険制度委員会 (プロジェクト)(津留水城)
医療事務職技能 認定審査委員会 (秀嶋宏)	医療事務職技能 認定審査委員会 (秀嶋宏)	医療事務職技能 認定審査委員会 (秀嶋宏)	医療事務職技能 認定審査委員会 (秀嶋宏)	医療事務職技能 認定審査委員会 (秀嶋宏)
				医療情報委員会(※)
自賠責問題委員会(春山廣臣)	自賠責問題委員会(鈴江襄治)	自賠責問題委員会(鈴江襄治)		
給食問題委員会(内藤賢一)	⇒ メディカル給食協会設立へ			
医業経営委員会(木村佑介)	医業経営委員会(木村佑介)	医業経営委員会(木村佑介)	医業経営委員会(赤枝雄一)	医業経営委員会(赤枝雄一)
	感染対策委員会(高木寛之)	感染対策委員会(高木寛之)		
	勤務医問題検討委員会(宗像秀雄)	勤務医問題検討委員会(宗像秀雄)	勤務医委員会(宗像秀雄)	勤務医委員会(宗像秀雄)
			教育人事委員会(平山登志夫)	教育人事委員会(平山登志夫)
				薬価差問題 プロジェクト委員会(※)

佐々英達会長時代				
平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)
財務委員会(中村秀夫)	財務委員会(中村秀夫)	財務委員会(中村秀夫)	財務委員会(中村秀夫)	財務委員会(中村秀夫)
諸規定検討委員会(山口京治)	諸規定検討委員会(※)	諸規定検討委員会(鈴江襄治)	諸規定検討委員会(鈴江襄治)	諸規定検討委員会(成田真康)
広報委員会(安藤高明)	広報委員会(安藤高明)	広報委員会(安藤高明)	広報委員会(安藤高明)	広報委員会(安藤高明)
国際交流委員会(高木寛之)	国際交流委員会(高木寛之)	国際交流委員会(中村秀夫)	国際交流委員会(中村秀夫)	国際交流委員会(中村秀夫)
医療保険・診療報酬委員会(西澤寛俊)	医療保険・診療報酬委員会(西澤寛俊)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)
学術委員会(新垣哲)	学術委員会(新垣哲)	学術委員会(新垣哲)	学術委員会(新垣哲)	学術委員会(新垣哲)
人間ドック委員会(小野田英雄)	人間ドック委員会(小野田英雄)	人間ドック委員会(太田宏)	人間ドック委員会(太田宏)	人間ドック委員会(太田宏)
医療税制・制度委員会(佐々英達)	医療税制・制度委員会(佐々英達)	医療税制・制度委員会(平松恵一)	医療税制・制度委員会(平松恵一)	医療税制・制度委員会(川野四郎)
救急委員会(石原哲)	救急委員会(石原哲)	救急委員会(石原哲)	救急委員会(石原哲)	救急・防災委員会(石原哲)
看護・介護委員会(辻尚司)	看護・介護委員会(辻尚司)	介護保険制度委員会(加藤隆正)	介護保険制度委員会(加藤隆正)	介護保険制度委員会(木下毅)
病院機能評価委員会(吉田静雄)	病院機能評価委員会(吉田静雄)	病院機能評価委員会(吉田静雄)	病院機能評価委員会(吉田静雄)	病院機能評価委員会(吉田静雄)
企画室委員会(赤枝雄一)	企画室委員会(赤枝雄一)	企画室委員会(赤枝雄一)	企画室委員会(赤枝雄一)	企画室委員会(赤枝雄一)
在宅医療委員会(木村佑介)	在宅医療委員会(木村佑介)			
疾病別医療行為(DRG)検討委員会(徳田禎久)	疾病別医療行為(DRG)検討委員会(徳田禎久)	DRG委員会(徳田禎久)	DRG委員会(徳田禎久)	医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)
医療事務職技能認定審査委員会(秀嶋宏)	医療事務職技能認定審査委員会(秀嶋宏)	医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)	医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)	医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)
医療情報委員会(早川大府)	医療情報委員会(早川大府)		医療安全対策委員会(石原哲)	医療安全対策委員会(石原哲)
	診療情報の提供に関する委員会(佐々英達)			
	中小病院のあり方に関する委員会プロジェクト委員会(西澤寛俊)	病院のあり方委員会(徳田禎久)	病院のあり方委員会(徳田禎久)	病院のあり方委員会(徳田禎久)
勤務医委員会(宗像秀雄)	勤務医委員会(宗像秀雄)	医療従事者委員会(宗像秀雄)	医療従事者委員会(宗像秀雄)	医療従事者委員会(大橋正貴)
教育人事委員会(中澤誠一郎)	教育人事委員会(中澤誠一郎)			
薬価差問題委員会プロジェクト委員会(秀嶋宏)	薬価差問題委員会プロジェクト委員会(秀嶋宏)	感染症対策プロジェクト委員会(宗像秀雄)	感染症対策プロジェクト委員会(宗像秀雄)	感染症対策・病院環境改善委員会(平山登志夫)
介護保険制度プロジェクト委員会(津留水城)	介護保険制度プロジェクト委員会(津留水城)			
老健施設委員会プロジェクト委員会(平山登志夫)	老健施設委員会プロジェクト委員会(平山登志夫)			

佐々英達会長時代

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)
財務委員会(中村秀夫)	財務委員会(太田宏)	財務委員会(太田宏)	財務委員会(中村康彦)	財務委員会(中村康彦)
諸規定検討委員会(成田貞康)	諸規定検討委員会(成田貞康)	諸規定検討委員会(成田貞康)	諸規定検討委員会(平山登志夫)	諸規定検討委員会(平山登志夫)
広報委員会(安藤高朗)	広報委員会(安藤高朗)	広報委員会(安藤高朗)	広報委員会(安藤高朗)	広報委員会(安藤高朗)
国際交流委員会(中村秀夫)	国際交流委員会(赤枝雄一)	国際交流委員会(赤枝雄一)	国際交流委員会(赤枝雄一)	国際交流委員会(赤枝雄一)
医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)
学術委員会(新垣哲)	学術委員会(新垣哲)	学術委員会(新垣哲)	学術委員会(新垣哲)	学術委員会(新垣哲)
人間ドック委員会(太田宏)	人間ドック委員会(太田宏)	人間ドック委員会(太田宏)	人間ドック委員会(西昂)	人間ドック委員会(西昂)
医療税制・制度委員会(川野西郎)	医療税制・制度委員会(江口尚久)	医療税制・制度委員会(江口尚久)	医療税制・制度委員会(小松寛治)	医療税制・制度委員会(小松寛治)
救急・防災委員会(石原哲)	救急・防災委員会(石原哲)	救急・防災委員会(石原哲)	救急・防災委員会(石原哲)	救急・防災委員会(石原哲)
介護保険制度委員会(木下毅)	介護保険制度委員会(木下毅)	介護保険制度委員会(木下毅)	介護保険制度委員会(木下毅)	介護保険制度委員会(木下毅)
病院機能評価委員会(吉田静雄)	病院機能評価委員会(吉田静雄)	病院機能評価委員会(吉田静雄)	病院機能評価委員会(木村厚)	病院機能評価委員会(木村厚)
企画室委員会(赤枝雄一)	企画室委員会(川島周)	企画室委員会(川島周)	企画室委員会(川島周)	企画室委員会(川島周)
				個人情報保護担当委員会(飯田修平)
医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)	医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)	医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)	医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)	医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)
医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)	医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)	医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)	医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)	医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)
医療安全対策委員会(中村定敏)	医療安全対策委員会(中村定敏)	医療安全対策委員会(中村定敏)	医療安全対策委員会(中村定敏)	医療安全対策委員会(中村定敏)
病院のあり方委員会(徳田禎久)	病院のあり方委員会(徳田禎久)	病院のあり方委員会(徳田禎久)	病院のあり方委員会(徳田禎久)	病院のあり方委員会(徳田禎久)
医療従事者委員会(大橋正實)	医療従事者委員会(大橋正實)	医療従事者委員会(大橋正實)	医療従事者委員会(大橋正實)	医療従事者委員会(大橋正實)
感染症対策・病院環境改善委員会(平山登志夫)				



西澤寛俊会長時代

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
総務委員会(古畑正)	総務委員会(古畑正)	総務・財務委員会(猪口正孝)	総務・財務委員会(猪口正孝)
財務委員会(中村康彦)	財務委員会(中村康彦)		
諸規定検討委員会(平山登志夫)	諸規定検討委員会(平山登志夫)		
広報委員会(安藤高朗)	広報委員会(安藤高朗)	広報委員会(織田正道)	広報委員会(織田正道)
国際交流委員会(赤枝雄一)	国際交流委員会(赤枝雄一)	国際交流委員会(赤枝雄一)	国際交流委員会(赤枝雄一)
医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)	医療保険・診療報酬委員会(猪口雄二)
学術委員会(新垣哲)	学術委員会(新垣哲)	学術委員会(川島周)	学術委員会(川島周)
人間ドック委員会(西昂)	人間ドック委員会(西昂)	人間ドック委員会(西昂)	人間ドック委員会(西昂)
医療税制・制度委員会(小松寛治)	医療税制・制度委員会(小松寛治)	医療税制・制度委員会(小松寛治)	医療税制・制度委員会(小松寛治)
救急・防災委員会(石原哲)	救急・防災委員会(石原哲)	救急・防災委員会(石原哲)	救急・防災委員会(石原哲)
介護保険制度委員会(木下毅)	介護保険制度委員会(木下毅)	介護保険制度委員会(木下毅)	介護保険制度委員会(木下毅)
病院機能評価委員会(木村厚)	病院機能評価委員会(木村厚)	病院機能評価委員会(木村厚)	病院機能評価委員会(木村厚)
企画室委員会(川島周)	企画室委員会(川島周)		
個人情報保護担当委員会(飯田修平)	個人情報保護担当委員会(飯田修平)	個人情報保護担当委員会(飯田修平)	個人情報保護担当委員会(飯田修平)
医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)	医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)	医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)	医療の質向上(DRG・TQM)委員会(飯田修平)
医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)	医療事務職技能認定審査委員会(佐々英達)	医療事務職技能認定審査委員会(西澤寛俊)	医療事務職技能認定審査委員会(西澤寛俊)
医療安全対策委員会(中村定敏)	医療安全対策委員会(中村定敏)		
病院のあり方委員会(徳田禎久)	病院のあり方委員会(徳田禎久)	病院のあり方委員会(徳田禎久)	病院のあり方委員会(徳田禎久)
		全日病総研運営会議	全日病総研運営会議
医療従事者委員会(大橋正貴)	医療従事者委員会(大橋正貴)	医療従事者委員会(大橋正貴)	医療従事者委員会(大橋正貴)
	無料職業紹介事業ワーキングチーム会議(手束昭胤)	無料職業紹介事業ワーキングチーム会議(手束昭胤)	無料職業紹介事業ワーキングチーム会議(※)
終末期医療に関するガイドライン策定検討会(木村厚)	終末期医療に関するガイドライン策定検討会(木村厚)	50周年記念行事ワーキング委員会(安藤高朗)	50周年記念行事ワーキング委員会(安藤高朗)
		国際メディカルソーリズム事業委員会(神野正博)	国際メディカルソーリズム事業委員会(神野正博)
		公益法人改革対応プロジェクト委員会(猪口雄二)	公益法人改革対応プロジェクト委員会(猪口雄二)

# 全日病学会 開催地一覧

年	月日	名称	学会長	場所
昭和37	11/2～3	第1回全日本病院管理学会	小澤 凱夫	大阪府 日本生命中之島ビル
38	11/16～17	第2回全日本病院管理学会	伊東 吉孝	愛知県 愛知県中小企業センター
39	11/21～22	第3回全日本病院管理学会	植田 安雄	兵庫県 神戸商工会議所
40	11/19～20	第4回全日本病院管理学会	前田 友助	東京都 砂防会館
41	9/30～10/1	第5回全日本病院管理学会	樋口謙太郎	福岡県 福岡県農協会館
42	10/14～15	第6回全日本病院管理学会	濱 光治	和歌山県 和歌山市民会館
43	10/19～20	第7回全日本病院管理学会	王子 喜一	大阪府 大阪厚生年金会館
44	11/8～9	第8回全日本病院管理学会	藤田 登	兵庫県 兵庫県民会館
45	10/17～18	第9回全日本病院管理学会	佐々 貴之	東京都 久保講堂
46	8/21～22	第10回全日本病院管理学会	槇 哲夫	宮城県 宮城県医師会館
47	9/29～30	第11回全日本病院管理学会	保田欣之助	奈良県 奈良県民文化会館
48	11/23～24	第12回全日本病院管理学会	正岡 旭	広島県 広島県立音楽堂
49	10/18～19	第13回全日本病院管理学会	太田 清一	神奈川県 神奈川県立音楽堂、横浜市教育会館
50	9/27～28	全日病九州支部研修会		大分県 大分西鉄グランドホテル
51	12/4	全日病東京研修会		東京都 日本医師会講堂
52	2/19～20	全日病九州研修会		福岡県 福岡県医師会大ホール
〃	5/29	全日病東北研修会	大原 菅一郎	福島県 大原総合病院講堂
〃	11/19	全日病関東研修会	柳沢 浩気	東京都 日本医師会大ホール
53	2/19	全日病九州研修会		佐賀県 佐賀県医師会館講堂
54	(2/25)	(全日病九州研修会)	古森 近	鹿児島県 鹿児島市立病院講堂
〃	7/21～22	全日病徳島研修会	澤 潤一	徳島県 大塚潮騒荘
55	2/16	全日病九州研修会	澤 潤一	宮崎県 宮崎市サンホテルフェニックス
56	2/21～22	全日病研修学会	日隈 和夫	熊本県 熊本市ニュースカイホテル
57	2/13～14	第23回全日本病学会・東京	菊地真一郎	東京都 野口記念会館
58	3/12～13	第24回全日本病院学会	大原 菅一郎	宮城県 仙台市民会館
59	1/28～29	第25回全日本病院学会	大原 重之	大阪府 大阪府医師会館
〃	10/12～14	第26回全日本病院学会	古森 近	福岡県 博多都ホテル
60	9/14～16	第27回全日本病院学会	木下 二亮	東京都 帝国ホテル
61	9/13～14	第28回全日本病院学会	河村虎太郎	広島県 広島県グランドホテル
62	10/10～11	第29回全日本病院学会	福島 茂夫	埼玉県 浦和健康センター
63	10/9～10	第30回全日本病院学会	澤 潤一	大阪府 大阪府立労働センター
平成元	9/23～24	第31回全日本病院学会	白男川史朗	熊本県 熊本県立劇場
2	9/23～24	第32回全日本病院学会	田詩 孝正	徳島県 郷土文化会館
3	9/22～23	第33回全日本病院学会	吉田 信	北海道 札幌市民会館
4	10/10～11	第34回全日本病院学会	小野田英雄	福島県 郡山市民文化センター
5	10/29～30	第35回全日本病院学会	秀嶋 宏	東京都 日本都市センターホテル
6	11/4～5	第36回全日本病院学会	池田 卓郎	宮崎県 ワールドコンベンションセンターサミット
7	11/24～25	第37回全日本病院学会	新垣 哲	沖縄県 コンベンションセンター
8	11/8～9	第38回全日本病院学会	松浦 俊子	香川県 丸亀市民会館・丸亀市総合会館
9	11/14～15	第39回全日本病院学会	赤枝 雄一	神奈川県 パシフィコ横浜
10	10/30～31	第40回全日本病院学会	川北 博明	兵庫県 神戸国際会議場・ポートピアホテル
11	10/15～16	第41回全日本病院学会	古畑 正	東京都 ホテル日航東京
12	10/13～14	第42回全日本病院学会	竹島 新	福岡県 シーホークホテル&リゾート
13	10/19～20	第43回全日本病院学会	市川 尚	埼玉県 ラフレさいたま
14	10/12～13	第44回全日本病院学会	辻 尚司	大阪府 大阪国際交流センター
15	10/11～12	第45回全日本病院学会	太田 宏	福島県 郡山市民文化センター
16	6/26～27	第46回全日本病院学会	大橋 正實	北海道 ロイトン札幌
17	9/18～19	第47回全日本病院学会	池田 卓郎	宮崎県 ワールドコンベンションセンターサミット
18	11/3～4	第48回全日本病院学会	手束 昭胤	徳島県 ホテルクレメント徳島
19	9/22～23	第49回全日本病院学会	小松 寛治	秋田県 秋田ビューホテル
20	11/22～23	第50回全日本病院学会	河北 博文	東京都 都市センターホテル
21	11/21～22	第51回全日本病院学会	上村 俊朗	鹿児島県 城山観光ホテル
22	10/10～11	第52回全日本病院学会	西 昂	兵庫県 神戸国際会議場
23	10/29～30	第53回全日本病院学会(予定)	新垣 哲	沖縄県 コンベンションセンター





# 叙勲および褒章受章者

H22.12.13

氏名	該当団体等の役職名	勲章		褒章		備考
		時期	勲等	時期	種別	
小澤 凱夫	元 会 長	昭 41 11	瑞 2	昭 35 11	紫綬	昭 53.5.5 亡、従 3 位銀盃 3 号
菊地眞一郎	元 会 長	昭 54 4	瑞 3			平 2.8.27 亡、従 5 位
大原 重之	元 副 会 長	昭 54 11	旭 5			平 4.1.9 亡
花輪 音三	元 副 会 長	昭 56 11	瑞 3	昭 50 11	藍綬	平 22.6.26 亡
古森 近	元 副 会 長	昭 56 11	旭 5			昭 60.9.7 亡、正 6 位木盃 1 組
古賀 二郎	元 副 会 長	昭 57 4	旭 5			平 13.10.5 亡
内藤 景岳	元 副 会 長	昭 59 11	旭 3	昭 54 11	藍綬	平 13.5.20 亡
小林 敏雄	元 常 任 理 事	昭 59 11	瑞 4			
井上 猛夫	元 副 会 長	昭 61 11	瑞 4	昭 55 4	藍綬	平 16.1.28 亡、従 5 位
大原嘗一郎	元 理 事	昭 61 11	瑞 3			
丸山 正義	元 常 任 理 事			昭 61 11	藍綬	
澤 潤一	元 副 会 長	昭 62 4	瑞 3	昭 51 11	藍綬	平 5.6.2 亡
加藤 明	元 理 事	昭 62 4	瑞 4			平 20.12.28 亡
河村虎太郎	元 副 会 長	昭 62 6	旭 5			昭 62.6.21 亡
岡本 丈	元 理 事	昭 62 11	旭 5			死亡
川内 拓郎	元 副 会 長	平 2 4	旭 5	昭 57 4	藍綬	平 14.4.7 亡
田時 孝正	元 会 長					平 4.4.7 亡、銀盃 1 個
岡山 清	元 常 任 理 事	平 4 4	瑞 4			平 10.12.27 亡
木下 二亮	元 会 長	平 5 4	旭 4			平 11.6.9 亡
内藤 賢一	元 常 任 理 事	平 5 11	瑞 4			
佐藤 文男	元 常 任 理 事	平 6 4	旭 5			
宮 芳久	元 常 任 理 事	平 6 4	瑞 5			
小野田英雄	元 副 会 長	平 7 4	瑞 4	昭 62 11	藍綬	平 15.9.18 亡
竹島 新	元 副 会 長	平 7 11	旭 5			
岩井 宏方		平 8 11	瑞 4			平 17.12.1 亡
太田 舜二	元 常 任 理 事	平 9 11	瑞 3			
山口 京治	元 常 任 理 事	平 10 11	旭 5			平 11.2.3 亡
中村 隆俊	元 代 議 員 会 議 長	平 12 4	旭 4			
秀嶋 宏	元 会 長	平 13 11	旭 4	平 3 4	藍綬	平 22.4.21 亡
池田 卓郎	元 副 会 長	平 13 11	旭 5			
中村 秀夫	元 常 任 理 事	平 14 11	瑞 3			
成田 眞康	元 常 任 理 事	平 14 11	旭 4			
鮫島耕一郎		平 14 11	旭 4			
梅原 松水	元 理 事	平 15 11	旭 双			
大川原康夫		平 15 11	瑞 小			
澤 温				平 15 11	藍綬	
武田 隆男	元 理 事	平 16 4	瑞 小			
森下 和郎		平 16 4	旭 双			
土屋 繁一		平 16 4	瑞 双			平 19.4.14 亡
天草 大陸	理 事			平 16 4	藍綬	
宮崎 昌之		平 16 11	旭 双			
鵜飼 昌訓	元 理 事	平 16 11	瑞 小			死亡
犬塚 隼人		平 16 11	瑞 双			
西田 貞之				平 16 11	藍綬	
鈴江 襄治	元 常 任 理 事	平 17 4	旭 小			平 19.8.20 亡
大原 幸彦	理 事	平 17 11	旭 双			
森 昇二	元 理 事	平 17 11	旭 双			
大井田 修	元 常 任 理 事	平 19 4	旭 小			
佐藤 亀弘	元 理 事	平 20 4	旭 双			
津留 水城	元 常 任 理 事	平 21 4	旭 小			平 21.5.28 死亡
平山登志夫	常 任 理 事	平 21 11	旭 双			
佐々 英達	前 会 長	平 22 3	旭 中			平 22.2.3 死亡
新垣 哲	常 任 理 事	平 22 4	旭 双			

※中央推薦…全日病から推薦

上記の表は昭和 44 年以降の全日病ニュース等に掲載された方をまとめたものであり、支部より本部へ連絡がなかった受章者は記載されておりません。

## 歴代役員一覧

氏名	役員略歴
小澤 凱夫	会長(S36~S50)、名誉会長(S51~S52)
伊藤 吉孝	副会長(S36~S42)、顧問(S43~S50)
石川 善衛	副会長(S36)
井街 譲	副会長(S37~S38)
植田 安雄	副会長(S39~S40)
前田 友助	副会長(S39~S42)、顧問(S43~S50)
野瀬善三郎	理事(S36~S38)、監事(S39~S40)、副会長(S41~S42)、顧問(S43~S50)
今村嘉九二	理事(S36~S42)、副会長(S43~S44)、顧問(S45~S50)
石田 凱夫	理事(S36~S41)、常任理事(S42)、理事(S43~S46)
中西 真吉	理事(S36~S38、S47~S50)
亀谷 敬三	理事(S36~S40)、監事(S41~S46)
藤掛 敏	理事(S36~S52)
濱 光治	理事(S36~S48)、顧問(S49~S50)
保田欣之助	理事(S36~S48)
村上 純一	理事(S36~S38)
菊池 武正	理事(S36~S40)、監事(S41~S42)
野崎 道郎	理事(S36~S38)、監事(S39~S40)、常任理事(S42)、理事(S43~S50)
内藤 景岳	理事(S36~S41)、常任理事(S42)、理事(S43~S46)、副会長(S47~S50)
鏡山 松樹	理事(S36~S38)
佐々木重夫	監事(S36~S42、S45~S48)、理事(S49~S50)
安田 寛之	監事(S39~S38)、理事(S39~S41)、常任理事(S42)、理事(S43~S46)
片倉 義夫	理事(S37~S38)
野村 実	理事(S37~S40)
岡田 竹文	理事(S37~S46)
山田 正明	理事(S37~S44)、監事(S45~S46)、副議長(S47~S50)、議長(S51~H6)、名誉会員(H7~H11)、顧問(H11)
川崎 祐宜	理事(S37~S50)
菅野 一	理事(S37~S44)
齋藤 利勝	理事(S37~S41)、常任理事(S42)、理事(S43~S50)
菱山 博文	理事(S37~S41)、常任理事(S42)、理事(S43~S50)
安田 陸郎	理事(S39~S43)
木村 知孝	理事(S39~S41)
木下 二亮	理事(S39~S50)、副会長(S51~S47)、会長(S58~S61)、理事(S62)、名誉会長(H5~H10)
川内 拓郎	理事(S39~S51)、常任理事(S52~S63)、副会長(H1~H2)、顧問(H3~H13)
柳澤 浩気	理事(S39~S50)、専務理事(S51~S52)、常任理事(S53~S54)、専務理事(S55~S57)、副議長(S60~S61)

氏名	役員略歴
宮本 一男	理事(S39~S40)
井上 猛夫	理事(S39~S51)、常任理事(S52~S54)、専務理事(S55~S57)、専務理事(S55~S57)、副会長(S60~S61)、理事(S62~S63)、顧問(S63~H14)
藤川 輔一	理事(S39)
古森 近	議長(S40~S50)、副会長(S51~S57)、顧問(S58~S59)
大原 重之	副議長(S40)、理事(S41~S50)、副会長(S51~S54)、理事(S55)、参与(S56)、理事(S57)、顧問(S58~H2)
菊地眞一郎	理事(S41)、常任理事(S42)、副会長(S43~S50)、会長(S51~S57)、名誉会長(S58~H1)
瀬川 功	理事(S41~S44)
松井 卓爾	理事(S41~S50)、顧問(S51~S56、S58~H6)
遠山 豪	理事(S41)、常任理事(S42)、理事(S43~S46)、副会長(S47~S50)
林 秀雄	理事(S41~S50)
澤 潤一	理事(S41~S42、S49~S50)、常任理事(S53~S54)、副会長(S55~S61)、常任理事(S62~S63)、副会長(H1~H2)、理事(H3~H4)
河崎 茂	理事(S41~S50)
村上 清	理事(S41~S44)
藤田 登	理事(S41)、常任理事(S42)、副会長(S43~S46)、顧問(S47~S56、S58~S60)
大村 重人	理事(S41~S44)、副会長(S45~S46)、顧問(S47)
辻 義正	理事(S41~S48)、副議長(S51)
日笠山純重	理事(S41)
松川 金七	理事(S42)
斉藤 修	理事(S42~S46、S49~S50)
花輪 音三	理事(S42~S55)、参与(S56)、理事(S57)、顧問(S58~S61)、副会長(S62~S63)、理事(H1~H2)、顧問(H3~H21)
近藤駿四郎	理事(S42~S44)
原田 正	理事(S42~S52)、常任理事(S53~S60)、顧問(S60~H5)
菊池 二郎	副議長(S41~S44)
木村 政良	理事(S43~S44)、監事(S53~S54)
平山 次郎	理事(S43~S46)、監事(S47~S50)
荒川 久	理事(S43~S50)
岡本 正己	理事(S43~S44)
野木 一雄	理事(S43~S44)、副議長(S45~S46)、監事(S47~S50)
吉岡 観八	理事(S43~S50)
高橋 秀吾	理事(S43~S48)
橋本 忠徳	理事(S42~S51)、常任理事(S52~S56)
宮本 晴夫	理事(S42~S47)
大林 新	理事(S43~S44)
浜田 正夫	理事(S43~S59)

氏名	役員略歴
内田 集司	理事(S43～S47)
森 泰樹	幹事(S43～S44)
佐藤 隆房	理事(S44～S46)
本多 徳児	理事(S44～S51)、常任理事(S52～S57)、副会長(S58～S61)、理事(S62～S63)、顧問(S63～S21)
結城 隆弥	理事(S45～S52)、参与(S54～S55)
大原菅一郎	理事(S44～S50)、監事(S51～S61)
赤倉 一郎	理事(S45～S48、S51)
岡山 義雄	幹事(S45～S50)
山本 善信	理事(S45～S46、S49～S50)
佐々 貴之	顧問(S45～S50)
平野 一彌	理事(S45～S50)
岡田 恭二	理事(S46)
小野 定男	理事(S47～S48)
和泉昇次郎	理事(S47～S50)
小野 康平	理事(S47～S52)
中村 隆俊	理事(S47～S50)、副議長(H1～H6)、議長(H7～H12)、顧問(H13～)
野村 秋守	理事(S47～S50)
島津 寿秀	理事(S47～S50)
奥田 幸造	理事(S47～S50)
阿久津 慎	理事(S47～S50)
竹澤 徳敬	理事(S47～S50)
豊島 正忠	理事(S47～S48)
田中 治	理事(S47～S50)
多根要之助	理事(S47～S50)
小山 三郎	理事(S47～S50)
岡崎 茂	理事(S47～S50)
小原知次郎	理事(S47～S50)
荘司 康	理事(S47～S48)
松倉 晴夫	理事(S47～S48)
堀口銀二郎	理事(S47～S50)
正岡 旭	理事(S47～S48)
水野 宗之	理事(S47～S48)
岡田 泰二	理事(S47～S50)
江藤 義男	理事(S47～S50)
杉岡 直登	理事(S47～S50)

氏名	役員略歴
岡山 清	理事(S47～S51)、常任理事(S52～H2)、理事(H3～H4)、顧問(H7～H9)
古賀 二郎	理事(S48～S50)、参与(S52～S54)、副会長(S55～S57)、顧問(S58～H12)
宗像 秀雄	理事(S49～H2)、常任理事(H3～H12)、顧問(H13～H21)
河野 通弘	理事(S49～S50)
篠崎 功	理事(S49～S50)
有澤 源蔵	理事(S49～S50)
内藤 正章	理事(S49～S50)
矢野尾三郎	理事(S49～S50)
金澤 豊純	理事(S49～S50)
久野 一郎	理事(S49～S50)
清水 準也	理事(S49～S50)
菊田 捷二	理事(S49～S50)
松本 功	理事(S49～S50)
中村 了生	理事(S49～S50)
牧 武	理事(S49～S50)
林 隆光	理事(S49～S52、S54～S59)
織田五二七	理事(S49～S51)、常任理事(S52～S57)、理事(S58)、常任理事(S59～S63)、顧問(H1～H20)
千田 嘉八	幹事(S49～S50)
金谷 康	理事(S51～S52)、常任理事(S53～S54)
北川 晴彦	理事(S51～S54)
鶴谷 孔明	理事(S51～S57)
高橋 昇	理事(S51～S52)
川久保典一	理事(S51～S52)、常任理事(S60～H2)、理事(H3～H4)、常任理事(H5～H7)
小林 金市	理事(S51～S59)、顧問(S60～H3)
井上 敬勝	理事(S51～S52)
秀嶋 宏	理事(S51)、常任理事(S52～S57)、理事(S58～S59)、常任理事(S60～S63)、副会長(H1～H2)、会長(H4～H10)、名誉会長(H11～H21)
中村 司	理事(S51)、常任理事(S52～S63)、参与(H1～H2)
福地 省吾	理事(S51～S57)
森村 茂樹	理事(S51～S52)
佐藤 敏胤	理事(S51)、常任理事(S52～S57)、理事(S58～S59)
村橋 善高	監事(S51)
永沢 滋	顧問(S51～S56、S58～S61)
仁科 盛章	理事(S52～S63、H5～H6)
稲垣 嘉胤	理事(S52～S60)
川上 稔	理事(S52～S63)、顧問(H1～H10)



氏名	役員略歴
磯源也	理事(S52)、常任理事(S53~S54)、監事(S55~S59)、理事(S60~S61)
松山 静雄	理事(S52~S55)、常任理事(S56~S61)、理事(S62~H2)
小林 敏雄	副議長(S52~S57)、常任理事(S58)、理事(S59)
赤嶺 幸彦	監事(S52)
伊藤 綏	理事(S53~S59)
内藤 賢一	常任理事(S53~H8)、顧問(H9~H21~)
市川 尚	常任理事(S53~S54)
春山 廣臣	常任理事(S53~H4)、理事(H5~H6)、
一盛 彌	常任理事(S53~S55)、理事(S56~S59、S61~H2)、副会長(H3~H4)、顧問(H5~H6、H9~H10)
木村 武	常任理事(S53~S61)、理事(S62~S63)
進藤 和行	理事(S53~S61)、常任理事(S62~S63)、理事(H1~H2)
佐藤 進	理事(S53~S59)
高階 憲司	理事(S53~S63)
小野田英雄	理事(S53~S57)、常任理事(S58~H2)、副会長(H3~H10)、理事(H11~H12)、監事(H13~H14)
伊藤 國彦	理事(S53~S59)、監事(S60~S61)、理事(H1~H4)、監事(H5~H12)、顧問(H13~H21~)
菊田 能敬	理事(S53~S57)、常任理事(S58~S59)、理事(S60~S61)、参与(S62~H3)
青木 信雄	理事(S53~S59)
川北 博明	理事(S53~S57)
市来 健史	理事(S53~S59)
大浜 方栄	理事(S53~S59)、顧問(S59~H16)
伊藤 孝	理事(S55~S63)
森 和郷	理事(S55~S57)
平山登志夫	理事(S55~S57)、常任理事(S58~S61)、理事(S62~S63)、常任理事(H1~H22~)
岡田 弘	理事(S55~S59)
岡本 丈	理事(S55~S59)、副議長(S62~H4)、顧問(H7~H18)
佐藤 文男	理事(S55~S61)、常任理事(S62~H10)、顧問(H11~H21~)
佐野 武四	理事(S56~S61)、常任理事(S62~H1)、理事(H2)、顧問(H3~H10)
高橋 正	理事(S55~S59)
竹政健次郎	理事(S55~S61)
貞本 和彦	理事(S55~H10)、常任理事(H11~H12)、理事(H13~H21~)
深瀬 邦雄	副会長(S58~S61)、理事(S62~S63)、顧問(H6~H13)
浅井 利勇	常任理事(S58~S61)、理事(S62~S63)
阿部 士良	常任理事(S58~S61)、理事(S62~S63)、顧問(H6~H12)
宮 芳久	常任理事(S58~H4)、理事(H5~H8)、顧問(H9~H21~)
長澤 文龍	理事(S58~S59)

氏名	役員略歴
片倉 康博	理事(S58~S59)
原 次郎	理事(S58~S59)
老沼秀一郎	理事(S58~S59)
佐々 正達	理事(S58~S59)
中川 義	理事(S58~S59)
広田 和俊	理事(S58~S60)
今村 勲	理事(S58~S59)
平井 脩	理事(S58~S59)
喜馬 通	理事(S58~S59)
辻 尚司	理事(S58~H4)、常任理事(H6~H12)、顧問(H13~H21~)
鄭 正秀	理事(S58~S59)
菱川 和夫	理事(S58~S59)
佐藤 亀弘	理事(S58~H16)、顧問(H17~H21~)
西尾 豊	理事(S58~S63)
竹島 新	理事(S58~S63)、常任理事(H1~H2)、副会長(H3~H4)、顧問(H5~H21~)
小林 麟也	理事(S58~H3)
池田 卓郎	副議長(S58~S61)、常任理事(H1~H4)、副会長(H5~H10)、常任理事(H11~H12)、議長(H13~H20)、顧問(H21~)
花岡 堅而	顧問(S58)
饗庭 忠男	参与(S58~H2)
足立大進老師	参与(S58~S61)
渥美 節夫	参与(S58~H6)
石井 淳一	参与(S58~S61)
泉 美之松	参与(S58~S61)
岩田 明達	参与(S58~H21~)
川北 祐幸	参与(S58~S61)
行天 良雄	参与(S58~H21~)
高橋 勝好	参与(S58~H6)
田中 明夫	参与(S58~H4)
塚本 哲也	参与(S58~S61)
藤咲 暉	参与(S58~H5)
吉田 良治	参与(S58~S59)
箕輪 登	顧問(S59~H4)
自見庄三郎	顧問(S59~H21~)
中山 太郎	顧問(S59~H21~)
羽田 春兔	顧問(S59~H6)

氏名	役員略歴
名取 荘夫	参与(S59～S63)
河村虎太郎	副会長(S60～S61)
伊藤 忠厚	副会長(S60～S61)、顧問(S62～S63)
竹内 實	常任理事(S60～S61)、理事(S62～H4)
河北 博文	常任理事(S60～S63)
松田 和雄	常任理事(S60～H2)
田蒔 孝正	常任理事(S60～S61)、会長(S62～H2)
秋山 洋一	理事(S60～S61)
天本 宏	理事(S60～S63)、副会長(H13～H14)
木村 佑介	理事(S60～S61)、常任理事(S62～H10)、参与(H11～H14)、副議長(H5～H20)、議長(H21～)
杉山 四郎	理事(S60～S61)
桑名 昭治	理事(S60)、顧問(S61、S63)
富永 讓介	理事(S60～S63)
山本 太喜	理事(S60～H2)
佐藤 東達	理事(S60～H6)
常岡 巽	理事(S60)
玉置友三郎	理事(S60～S61)
古川 牧一	理事(S60～S63)
井上 満治	理事(S60～S63)
坂元 明達	理事(S60～S61)
新垣 哲	理事(S60～S61)、常任理事(S62～H21～)
鈴木 喬久	参与(S60)
佐分利輝彦	参与(S60～H9)
大谷 藤郎	参与(S60～H21～)
丸山 正義	常任理事(S61)、理事(S62～S63)
太田 舜二	理事(S61～S63)、参与(H1～H2)、理事(H3～H4)、常任理事(H5～H8)、顧問(H10～H21～)
山縣 健三	理事(S61～S63)
大矢 清	理事(S61)
勅使河原順三	理事(S61～H1)、常任理事(H2～H6)、顧問(H7～H21～)
大隈 義彦	理事(S61～S63)
藤原 恒弘	理事(S61)、常任理事(S62～H10)
竹内 三郎	理事(S61～S63)、顧問(H1～H21～)
中野 徹雄	参与(S61)
高柳 毅	参与(S61)
牛尾 治朗	参与(S61)

氏名	役員略歴
上條 俊昭	参与(S61)
岡田玲一郎	参与(S61～S63)
遠藤 周作	参与(S61～S63)
山口 京治	常任理事(S62～H9)
梅原 松水	理事(S62～S63)
佐々 英達	理事(S62～H6)、常任理事(H7～H10)、会長(H11～H18)、名誉会長(H19～H20)
早川 大府	理事(S62～H2)、常任理事(H3～H4)、副会長(H5～H10)
古畑 正	理事(S62～S63)、常任理事(H1～H20)、理事(H21～)、
笠島 宗夫	理事(S62～H5)
加藤 明	理事(S62～S63)
河石 浩	理事(S62～H10)
濱田 彰彦	理事(S62～H7)
花牟禮文太郎	理事(S62～H10)
比嘉 國郎	理事(S62～S63)、参与(H1～H6)、顧問(H7～H21～)
小林 文慶	監事(S62～H4)、顧問(H5～H10)
斎藤 忠	監事(S62～H4)
鈴江 襄治	副議長(S62～S63)、常任理事(H1～H8)、理事(H9～H10)、常任理事(H11～H12)、顧問(H13～H18)
橋本龍太郎	顧問(H1～H17)
長野 祐也	顧問(H1～H6)
坪井 栄孝	参与(H1～H6)、顧問(H7～H15)
矢沢珪二郎	参与(H1～H10)
土谷 太郎	参与(H1～H4)
荒木 貞敬	常任理事(H1～H2)、理事(H3～H4)、常任理事(H5～H6)
丹野 浩	理事(H1～H8)
久野 恒一	理事(H1～H4)、顧問(H11～H13)
黒須 篤平	理事(H1～H4)
大井田 修	理事(H1～H2)、常任理事(H3～H4)、理事(H5～H8)、顧問(H9～H21～)
立川 晴一	理事(H1～H2)
柳瀬 恒範	理事(H1～H2)
武田 隆男	理事(H1～H2)
丘 幾司	理事(H1～H10)
津留 水城	理事(H1～H2)、常任理事(H3～H12)、顧問(H13～H20)
高木 寛之	理事(H1～H2)、常任理事(H3～H10)
城間 祥行	理事(H1～H4)
吉田 信	常任理事(H3～H4)

氏名	役員略歴
中村 秀夫	常任理事(H3~H4)、理事(H5~H8)、常任理事(H9~H14)、監事(H15~H16)、顧問(H17~H21~)
川井 忠	理事(H3~H4)
吉田 静雄	理事(H3~H4)、常任理事(H5~H16)、監事(H17~H21~)
吉川 東陽	理事(H3~H4)
芳野 敏章	理事(H3~H4)
宇都宮文夫	理事(H3~H6)
土屋 利紀	理事(H3~H6)
濱砂 重仁	理事(H3~H16)、常任理事(17~H21~)
柿澤 弘治	顧問(H3~H10)
大島 慶久	顧問(H3~H4)
大道 久	参与(H3~H21~)
太田 清蔵	参与(H3~H4)
石井 孝宜	参与(H3~H21~)
長 隆	参与(H3~H21~)
岩井 宏方	参与(H3~H6)、顧問(H7~H16)
市川 英雄	参与(H3~H21~)
村瀬 敏郎	顧問(H4~H8)
神尾 友和	常任理事(H5~H8)
赤枝 雄一	常任理事(H5~H21~)
田尾 重良	理事(H5~H8)
西澤 寛俊	理事(H5~H6)、常任理事(H7~H10)、副会長(H11~H18)、会長(H19~H21~)
塚田 恵一	理事(H5~H17)
渡辺 和雄	理事(H5~H18)
前田 太郎	理事(H5~H8、H11~H16)
中村 定敏	理事(H5~H12)、常任理事(H13~H21~)
吉松 秀則	理事(H5~H10)
賀来 隆典	理事(H5~H8)
嶺井 進	理事(H5~H16)
加藤 陽二	監事(H5~H8)
手束 昭胤	副議長(H5~H10)、副会長(H11~H20)、顧問(H21~)
戸井田三郎	顧問(H5~H7)
松浦十四郎	顧問(H5~H6)
漆 博雄	参与(H6~H9)
南部 鶴彦	参与(H6~H10)
丹羽 雄哉	顧問(H6~H21~)

氏名	役員略歴
野田 滋行	理事(H6)
川村 明夫	理事(H7~H10)
森 昇二	理事(H7~H14)
安藤 高朗	理事(H7~H8)、常任理事(H9~H14)、副会長(H15~H21~)
岸本 晃男	理事(H7~H18)
横田 力	理事(H7~H20)
鷓飼 昌訓	理事(H7~H10)
荒尾 素次	理事(H7~H14)
川野 四郎	理事(H7~H12)、常任理事(H13~H18)、顧問(H19~H21~)
原尻 正治	理事(H7~H8)
中村 晃一	副議長(H7~H10)
徳田 禎久	常任理事(H9~H12)、理事(H13~H18)、常任理事(H19~H21~)
石原 哲	常任理事(H9~H21~)
中澤誠一郎	常任理事(H9~H10)
大橋 正實	理事(H9~H12)、常任理事(H13~H21~)
前澤 洋	理事(H9~H11)
太田 宏	理事(H9~H10)、常任理事(H11~H16)
天草 大陸	理事(H9~H21~)
船越 肇	理事(H9~H10)
白山 鴻鍵	理事(H9~H14)
松浦 俊子	理事(H9~H14)
副島 茂徳	理事(H9~H10)
松田 靖	理事(H9~H10)
野口 志郎	理事(H9~H18)
鷲谷 澄夫	監事(H9~H21)
加藤 隆正	常任理事(H11~H12)
成田 眞康	常任理事(H11~H16)
平松 恵一	常任理事(H11~H12)、理事(H13~H14)
諸隈 正剛	常任理事(H11~H12)
小泉 和雄	理事(H11~H12)
清水 紘	理事(H11~H21~)
桧田 仁	顧問(H9~H10)、理事(H11~H12)
木下 毅	理事(H11~H12)、常任理事(H13~H21~)
高橋 淳二	理事(H11~H14)
横須賀 巖	理事(H11~H14)

氏名	役員略歴
江崎 辰男	理事(H11～H20)
田代 祐基	理事(H11～H14、H19～H21～)
高原 篤重	理事(H11～H12)
猪口 雄二	副議長(H11～H14)、常任理事(H15～H18)、副会長(H19～H21～)
宮城 敏夫	副議長(H11～H21～)
川淵 孝一	参与(H11～H21～)
鈴木 俊一	顧問(H11～H21～)
小松 寛治	常任理事(H13～H21～)
猿原 孝行	常任理事(H13～H16)
日野 頌三	常任理事(H13～H18)、理事(H19～H21～)
川島 周	常任理事(H13～H21～)
江口 尚久	常任理事(H13～H16)
獅子目賢一郎	常任理事(H13～H16)、理事(H17～H18)
坂 文敏	理事(H13～H20)
小笠原 博	理事(H13～H21～)
飯田 修平	理事(H13～H14)、常任理事(H15～H21～)
大原 幸彦	理事(H13～H21～)
銚之原大助	理事(H13～H21～)
鈴木 俊光	参与(H3～H14)、監事(H13～H21～)
比企 達男	理事(H15～H21～)
中村 康彦	理事(H15～H16)、常任理事(H17～H21～)
加納 繁照	理事(H15～H18)、常任理事(H19～H21～)
西 昂	理事(H15～H16)、常任理事(H17～H21～)
松井 孝嘉	理事(H15～H21～)
山口継志郎	理事(H15～H16)
古賀 義行	理事(H15～H20)
鶴田 克明	理事(H15～H18)
濱脇 純一	理事(H15～H16)、常任理事(H17～H21～)
植松 治雄	顧問(H16～H17)
松村 耕三	常任理事(H17～H21～)

氏名	役員略歴
木村 厚	常任理事(H17～H21～)
中島 一彦	理事(H17～H21～)
藤田 民夫	理事(H17～H21～)
志田 幸雄	理事(H17～H21～)
古城 資久	理事(H17～H21～)
佐能 量雄	理事(H17～H21～)
島本 政明	理事(H17～H21～)
織田 正道	理事(H17～H18)、常任理事(H19～H21～)
牧角 寛郎	理事(H17～H21～)
西島 英利	顧問(H17～H21～)
唐澤 祥人	顧問(H18～H21)
鴨下 一郎	顧問(H18～H21～)
清水鴻一郎	顧問(H18～H21～)
中嶋 康之	理事(H19～H21～)
市原 健一	理事(H19～H21～)
稲波 弘彦	理事(H19～H21～)
猪口 正孝	理事(H19～H20)、常任理事(H21～)
神野 正博	理事(H19～H20)、副会長(H21～)
山本 真史	理事(H19～H21～)
山田 一隆	理事(H19～H21～)
畑 洋一	理事(H19～H21～)
大塚 直純	理事(H19～H21～)
高橋 肇	理事(H21～)
永井 庸次	理事(H21～)
美原 盤	理事(H21～)
宮地 千尋	理事(H21～)
井上健一郎	理事(H21～)
山本 登	副議長(H21～)
田時 正治	理事(H21～)
原中 勝征	顧問(H22～)

## \* 支部長一覽

No.	都道府県	60年度	61年度	62年度	63年度	平成1年度	2年度	3年度
1	北海道	進藤 和行	吉田 信	吉田 信	吉田 信	吉田 信	吉田 信	吉田 信
2	青森県		宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄
3	岩手県	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍
4	宮城県	大原嘗一郎			本多 徳児	本多 徳児	本多 徳児	本多 徳児
5	秋田県	内藤 賢一	内藤 賢一	内藤 賢一	内藤 賢一	内藤 賢一	内藤 賢一	内藤 賢一
6	山形県		仁科 盛章	仁科 盛章	仁科 盛章	仁科 盛章	仁科 盛章	仁科 盛章
7	福島県		小野田英雄	小野田英雄	小野田英雄	小野田英雄	小野田英雄	小野田英雄
8	茨城県				志村 巖	志村 巖	山縣 健三	山縣 健三
9	栃木県				川上 稔	黒須 篤平	黒須 篤平	黒須 篤平
10	群馬県					鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武
11	埼玉県				川久保典一	川久保典一	川久保典一	川久保典一
12	千葉県	浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇
13	東京都	松井 卓爾	松井 卓爾	松井 卓爾	松井 卓爾	山田 正明	山田 正明	山田 正明
14	神奈川県	大矢 清	大矢 清	久保内一男	久保内一男	久保内一男	久保内一男	辻 功
15	山梨県				宮川 勝馬	宮川 勝馬	宮川 勝馬	宮川 勝馬
16	長野県				中澤 弘行	中澤 弘行	中澤 弘行	中澤 弘行
17	新潟県					立川 晴一	立川 晴一	立川 晴一
18	富山県		笠島 宗夫	笠島 宗夫	笠島 宗夫	笠島 宗夫	笠島 宗夫	笠島 宗夫
19	石川県				山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄
20	福井県				富永 讓介	富永 讓介	富永 讓介	富永 讓介
21	岐阜県	山本 太喜	山本 太喜	山本 太喜	山本 太喜	山本 太喜	山本 太喜	山本 太喜
22	静岡県				佐藤 文男	佐藤 文男	佐藤 文男	佐藤 文男
23	愛知県		佐野 武四	佐野 武四	佐野 武四	佐野 武四	佐野 武四	勅使河原順三
24	三重県				柳瀬 恒範	柳瀬 恒範	柳瀬 恒範	柳瀬 恒範
25	滋賀県				加藤 明	加藤 明	加藤 明	加藤 明
26	京都府		佐藤 東達	佐藤 東達	佐藤 東達	佐藤 東達	佐藤 東達	佐藤 東達
27	大阪府	澤 潤一	澤 潤一	澤 潤一	澤 潤一	澤 潤一	澤 潤一	澤 潤一
29	兵庫県				吉田 静雄	吉田 静雄	吉田 静雄	吉田 静雄
30	奈良県				南 溢	南 溢	南 溢	南 溢
31	和歌山県				玉置友三郎	玉置友三郎	玉置友三郎	玉置友三郎
32	鳥取県				松本 久	松本 久	松本 久	松本 久
33	島根県		小林 文慶	小林 文慶	小林 文慶	小林 文慶	小林 文慶	加藤 陽二
34	岡山県				松田 和雄	松田 和雄	松田 和雄	佐藤 亀弘
35	広島県				土谷 太郎	土谷 太郎	土谷 太郎	土谷 太郎
36	山口県		丘 幾司	丘 幾司	丘 幾司	丘 幾司	丘 幾司	丘 幾司
37	徳島県	田蒔 孝正	田蒔 孝正	鈴江 襄治	鈴江 襄治	鈴江 襄治	鈴江 襄治	手束 昭胤
38	香川県				三宅 俊三	三宅 俊三	三宅 俊三	三宅 俊三
39	愛媛県			貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦
40	高知県		濱田 彰彦	濱田 彰彦	濱田 彰彦	濱田 彰彦	濱田 彰彦	濱田 彰彦
41	福岡県	井上 猛夫	井上 猛夫	井上 猛夫	井上 猛夫	井上 猛夫	井上 猛夫	竹島 新
42	佐賀県	織田 五二七	織田 五二七	織田 五二七	山口 京治	山口 京治	山口 京治	山口 京治
43	長崎県	井上 満治	井上 満治	井上 満治	井上 満治	井上 満治	井上 満治	井上 満治
44	熊本県	日隅 和夫	日隅 和夫	日隅 和夫	岡山 清	岡山 清	岡山 清	岡山 清
45	大分県	佐藤 敏胤	佐藤 敏胤	佐藤 敏胤	松山 静雄	松山 静雄	宇都宮文夫	宇都宮文夫
46	宮崎県	原田 正	竹内 三郎	竹内 三郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎
47	鹿児島県		花牟禮文太郎	花牟禮文太郎	花牟禮文太郎	花牟禮文太郎	花牟禮文太郎	花牟禮文太郎
48	沖縄県				城間 祥行	城間 祥行	城間 祥行	城間 祥行

4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	都道府県	No.
吉田 信	吉田 信	吉田 信	吉田 信	吉田 信	吉田 信	吉田 信	北海道	1
宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	青森県	2
長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	岩手県	3
本多 徳児	本多 徳児	本多 徳児	本多 徳児	本多 徳児	前澤 祥	前澤 祥	宮城県	4
内藤 賢一	内藤 賢一	内藤 賢一	内藤 賢一	内藤 賢一	内藤 賢一	小松 寛治	秋田県	5
仁科 盛章	仁科 盛章	仁科 盛章	仁科 盛章	仁科 盛章	仁科 盛章	仁科 盛章	山形県	6
小野田英雄	土屋 繁一	土屋 繁一	土屋 繁一	土屋 繁一	土屋 繁一	土屋 繁一	福島県	7
山縣 健三	山縣 健三	山縣 健三	山縣 健三		塚田 恵一	塚田 恵一	茨城県	8
黒須 篤平		野田 滋行	野田 滋行	野田 滋行	野田 滋行	野田 滋行	栃木県	9
鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	群馬県	10
川久保典一	川久保典一	川久保典一	川久保典一	市川 尚	市川 尚	市川 尚	埼玉県	11
浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇	浅井 利勇	千葉県	12
山田 正明	山田 正明	山田 正明	古畑 正	古畑 正	古畑 正	古畑 正	東京都	13
赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	神奈川県	14
宮川 勝馬	宮川 勝馬	宮川 勝馬	宮川 勝馬	宮川 勝馬	宮川 勝馬		山梨県	15
中澤 弘行	中澤 弘行	中澤 弘行	中澤 弘行	中澤 弘行	中澤 弘行	中澤 弘行	長野県	16
立川 晴一	立川 晴一	立川 晴一	立川 晴一	立川 晴一	吉田 鉄郎	吉田 鉄郎	新潟県	17
笠島 宗夫	笠島 宗夫	横田 力	横田 力	横田 力	横田 力	横田 力	富山県	18
山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	石川県	19
富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	福井県	20
渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄	岐阜県	21
佐藤 文男	佐藤 文男	佐藤 文男	佐藤 文男	佐藤 文男	佐藤 文男	佐藤 文男	静岡県	22
勅使河原順三	勅使河原順三	勅使河原順三	木村 桂一	木村 桂一	成田 眞康	成田 眞康	愛知県	23
柳瀬 恒範	柳瀬 恒範	柳瀬 恒範	柳瀬 恒範	前田 太郎	前田 太郎	前田 太郎	三重県	24
加藤 明	加藤 明	加藤 明	加藤 明	加藤 明	加藤 明	加藤 明	滋賀県	25
佐藤 東達	佐藤 東達	佐藤 東達	出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生	京都府	26
澤 潤一	宮 芳久	宮 芳久	宮 芳久	宮 芳久	白山 鴻鍵	白山 鴻鍵	大阪府	27
吉田 静雄	荒尾 素次	荒尾 素次	荒尾 素次	荒尾 素次	荒尾 素次	荒尾 素次	兵庫県	29
南 溢	南 溢	南 溢	南 溢	南 溢	南 溢	南 溢	奈良県	30
玉置友三郎	橋本 忠美	橋本 忠美					和歌山県	31
松本 久	松本 久	松本 久	松本 久	松本 久	松本 久	松本 久	鳥取県	32
加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	島根県	33
佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	岡山県	34
藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	広島県	35
丘 幾司	丘 幾司	丘 幾司	丘 幾司	丘 幾司	丘 幾司	丘 幾司	山口県	36
手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	徳島県	37
松浦 俊子	松浦 俊子	松浦 俊子	松浦 俊子	松浦 俊子	松浦 俊子	松井 孝嘉	香川県	38
貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	愛媛県	39
濱田 彰彦	濱田 彰彦	濱田 彰彦	濱田 彰彦	中澤誠一郎	中澤誠一郎	中澤誠一郎	高知県	40
竹島 新	竹島 新	竹島 新	竹島 新	竹島 新	竹島 新	竹島 新	福岡県	41
山口 京治	山口 京治	山口 京治	山口 京治	山口 京治	山口 京治	諸隅 正剛	佐賀県	42
井上 満治	井上 満治	井上 満治	井上 満治	井上 満治	井上 満治	井上 満治	長崎県	43
賀来 隆典	賀来 隆典	賀来 隆典	賀来 隆典	賀来 隆典	川野 四郎	川野 四郎	熊本県	44
宇都宮文夫	宇都宮文夫	宇都宮文夫	原尻 正治	原尻 正治	岡 宗由	岡 宗由	大分県	45
池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	宮崎県	46
花牟禮文太郎	花牟禮文太郎	花牟禮文太郎	寺田 宰	寺田 宰	寺田 宰	寺田 宰	鹿児島県	47
新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	沖縄県	48

No.	都道府県	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
1	北海道	吉田 信	吉田 信	進藤 和行	大橋 正實	大橋 正實	大橋 正實	大橋 正實
2	青森県	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	宗像 秀雄	
3	岩手県	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍	長澤 文龍
4	宮城県	前澤 祥						
5	秋田県	小松 寛治	小松 寛治	小松 寛治	小松 寛治	小松 寛治	小松 寛治	小松 寛治
6	山形県	仁科 盛章	仁科 盛章		仁科 盛之	仁科 盛之	仁科 盛之	仁科 盛之
7	福島県	土屋 繁一	土屋 繁一	太田 宏	太田 宏	太田 宏	太田 宏	松村 耕三
8	茨城県	塚田 恵一	塚田 恵一	塚田 恵一	塚田 恵一	塚田 恵一	塚田 恵一	塚田 恵一
9	栃木県	臼井 亮平	臼井 亮平	臼井 亮平	臼井 亮平	臼井 亮平	臼井 亮平	臼井 亮平
10	群馬県	鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	鶴谷 嘉武	美原 盤	美原 盤	美原 盤
11	埼玉県	市川 尚	市川 尚	市川 尚	天草 大陸	天草 大陸	天草 大陸	天草 大陸
12	千葉県	平山登志夫	平山登志夫	平山登志夫	平山登志夫	平山登志夫	平山登志夫	平山登志夫
13	東京都	古畑 正	古畑 正	古畑 正	古畑 正	古畑 正	古畑 正	古畑 正
14	神奈川県	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一
15	山梨県							
16	長野県	中澤 弘行	中澤 弘行	関 健	関 健	関 健	関 健	関 健
17	新潟県	吉田 鉄郎	吉田 鉄郎	吉田 鉄郎	吉田 鉄郎	吉田 鉄郎	吉田 鉄郎	吉田 鉄郎
18	富山県	横田 力	横田 力	横田 力	横田 力	横田 力	横田 力	横田 力
19	石川県	山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	山崎 幹雄	神野 正博
20	福井県	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介
21	岐阜県	渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄	渡辺 和雄
22	静岡県	佐藤 文男	猿原 孝行	猿原 孝行	猿原 孝行	猿原 孝行	猿原 孝行	中島 一彦
23	愛知県	成田 眞康	成田 眞康	成田 眞康	成田 眞康	成田 眞康	成田 眞康	成田 眞康
24	三重県	前田 太郎	前田 太郎	前田 太郎	前田 太郎	前田 太郎	前田 太郎	志田 幸雄
25	滋賀県	加藤 明	加藤 明	加藤 明	加藤 明	加藤 明	加藤 明	加藤 明
26	京都府	出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生
27	大阪府	白山 鴻鍵	白山 鴻鍵	白山 鴻鍵	白山 鴻鍵	白山 鴻鍵	白山 鴻鍵	白山 鴻鍵
29	兵庫県	荒尾 素次	荒尾 素次	荒尾 素次	荒尾 素次	西 昂	西 昂	西 昂
30	奈良県	南 溢	南 溢	南 溢	南 溢	南 溢	南 溢	南 溢
31	和歌山県							
32	鳥取県	松本 久	松本 久	松本 久	松本 久	松本 久	松本 久	松本 久
33	島根県	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二
34	岡山県	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘
35	広島県	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘
36	山口県	木下 毅	木下 毅	木下 毅	木下 毅	木下 毅	木下 毅	木下 毅
37	徳島県	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤
38	香川県	松井 孝嘉	松井 孝嘉	松井 孝嘉	松井 孝嘉	松井 孝嘉	松井 孝嘉	松井 孝嘉
39	愛媛県	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦
40	高知県	中澤誠一郎	中澤誠一郎	中澤誠一郎	高橋 淳二	高橋 淳二	高橋 淳二	高橋 淳二
41	福岡県	竹島 新	竹島 新	竹島 新	竹島 新	竹島 新	竹島 新	竹島 新
42	佐賀県	江口 尚久	江口 尚久	江口 尚久	江口 尚久	江口 尚久	古賀 義行	古賀 義行
43	長崎県	江崎 辰男	江崎 辰男	江崎 辰男	江崎 辰男	江崎 辰男	江崎 辰男	江崎 辰男
44	熊本県	川野 四郎	川野 四郎	川野 四郎	川野 四郎	川野 四郎	川野 四郎	川野 四郎
45	大分県	岡 宗由	岡 宗由	岡 宗由	岡 宗由	岡 宗由	岡 宗由	井野邊 義一
46	宮崎県	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎	池田 卓郎
47	鹿児島県	寺田 宰	寺田 宰	米盛 学	水間 良信	水間 良信	水間 良信	水間 良信
48	沖縄県	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲



18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	都道府県	No.
大橋 正實	大橋 正實	大橋 正實	大橋 正實	大橋 正實	北海道	1
村上 秀一	村上 秀一	村上 秀一	村上 秀一	村上 秀一	青森県	2
岩淵 國人	岩淵 國人	岩淵 國人	岩淵 國人	岩淵 國人	岩手県	3
中嶋 康之	中嶋 康之	中嶋 康之	中嶋 康之	中嶋 康之	宮城県	4
小松 寛治	小松 寛治	小松 寛治	小松 寛治	小松 寛治	秋田県	5
仁科 盛之	仁科 盛之	仁科 盛之	仁科 盛之	仁科 盛之	山形県	6
松村 耕三	松村 耕三	松村 耕三	松村 耕三	松村 耕三	福島県	7
市原 健一	市原 健一	市原 健一	市原 健一	市原 健一	茨城県	8
臼井 亮平	臼井 亮平	臼井 亮平	比企 達男	比企 達男	栃木県	9
美原 盤	美原 盤	美原 盤	美原 盤	美原 盤	群馬県	10
天草 大陸	天草 大陸	天草 大陸	天草 大陸	天草 大陸	埼玉県	11
平山登志夫	平山登志夫	平山登志夫	平山登志夫	平山登志夫	千葉県	12
古畑 正	古畑 正	古畑 正	古畑 正	古畑 正	東京都	13
赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	赤枝 雄一	神奈川県	14
熊澤 光生	熊澤 光生	熊澤 光生	熊澤 光生	熊澤 光生	山梨県	15
関 健	関 健	関 健	関 健	関 健	長野県	16
吉田 鉄郎	吉田 鉄郎	齊藤 隆景	齊藤 隆景	齊藤 隆景	新潟県	17
横田 力	横田 力	横田 力	横田 力	横田 力	富山県	18
神野 正博	神野 正博	神野 正博	神野 正博	神野 正博	石川県	19
富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	富永 譲介	福井県	20
山本 眞史	山本 眞史	山本 眞史	山本 眞史	山本 眞史	岐阜県	21
中島 一彦	中島 一彦	中島 一彦	中島 一彦	中島 一彦	静岡県	22
成田 眞康	成田 眞康	藤田 民夫	藤田 民夫	藤田 民夫	愛知県	23
志田 幸雄	志田 幸雄	志田 幸雄	斎藤 洋一	斎藤 洋一	三重県	24
加藤 明	加藤 明		笠松 高行	笠松 高行 <small>(22年12月逝去)</small>	滋賀県	25
出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生	出射 靖生	京都府	26
白山 鴻鍵	白山 鴻鍵	白山 鴻鍵	白山 鴻鍵	河崎 晃	大阪府	27
西 昂	西 昂	西 昂	西 昂	西 昂	兵庫県	29
南 溢	辻村 拓夫	辻村 拓夫	辻村 拓夫	辻村 拓夫	奈良県	30
成川 守彦	成川 守彦	成川 守彦	成川 守彦	成川 守彦	和歌山県	31
松本 久	松本 久	松本 久	松本 久	松本 久	鳥取県	32
加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	加藤 陽二	櫻井 照久	島根県	33
佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	佐藤 亀弘	岡山県	34
藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	藤原 恒弘	広島県	35
木下 毅	木下 毅	木下 毅	木下 毅	木下 毅	山口県	36
手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	手束 昭胤	田蒔 正治	徳島県	37
松井 孝嘉	松井 孝嘉	松井 孝嘉	松井 孝嘉	松井 孝嘉	香川県	38
貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	貞本 和彦	愛媛県	39
高橋 淳二	高橋 淳二	高橋 淳二	高橋 淳二	高橋 淳二	高知県	40
竹島 新	竹島 新	竹島 新	陣内 重三	陣内 重三	福岡県	41
古賀 義行	古賀 義行	古賀 義行	古賀 義行	古賀 義行	佐賀県	42
江崎 辰男	江崎 辰男	江崎 辰男	江崎 辰男	江崎 辰男	長崎県	43
川野 四郎	田代 祐基	田代 祐基	田代 祐基	田代 祐基	熊本県	44
井野邊義一	井野邊義一	井野邊義一	井野邊義一	川島 真人	大分県	45
濱砂 重仁	濱砂 重仁	濱砂 重仁	濱砂 重仁	濱砂 重仁	宮崎県	46
水間 良信	水間 良信	上村 俊朗	上村 俊朗	上村 俊朗	鹿児島県	47
新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	新垣 哲	沖縄県	48

# 全日本病院協会の50年の歩み——年表

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
<b>昭和37年【1962】</b>	<p>小澤凱夫会長</p> <p>1月 佐賀県支部、福岡県支部結成</p> <p>2月 「全日本病院協会々報」創刊号発行</p> <p>3月</p> <p>4月</p> <p>5月</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月 全日本病院協会の社団法人設立許可促進方を陳情</p> <p>9月 社団法人として認可(設立許可書厚生省阪医第131号)</p> <p>10月</p> <p>11月 第1回全日本病院管理学会</p> <p>12月</p>	<p>全国自治体病院協議会発足</p> <p>西村英一厚生大臣就任</p> <p>医療法の一部を改正する法律</p> <p>石橋猛雄日本精神病院協会会長就任</p> <p>抗生物質の使用基準等改正</p> <p>制限診療撤廃</p>	<p>三河島事故</p> <p>社会保険庁設置</p> <p>戦後初の国産飛行機試験飛行</p>
<b>昭和38年【1963】</b>	<p>1月</p> <p>2月 「全日本病院管理学会雑誌」創刊</p> <p>3月 会員名簿作成(会員数1,501)</p> <p>4月</p> <p>5月 第1回欧米病院管理研究視察団派遣</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月 入院診察料と原価調査(37年度分につき)</p> <p>10月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>公的病院の病床を規制する医療法改正施行</p> <p>中医協開催</p> <p>小林武治厚生大臣就任</p> <p>老人福祉法施行</p> <p>地域差撤廃、医療費3.65%引き上げ</p>	<p>日本アイバンク開設</p> <p>三井三川鉱炭塵爆発</p>
<b>昭和39年【1964】</b>	<p>1月 「全日病管理学会雑誌」第1号発刊</p> <p>2月</p> <p>3月</p> <p>4月</p> <p>5月 定款一部改正</p> <p>6月</p> <p>7月</p> <p>8月</p> <p>9月 世界病院協会から正式に会員として認可</p> <p>10月 関東甲信越支部設立</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p>医療費改定(9.5%引き上げ)</p> <p>国産小児マヒワクチン完成</p> <p>予防接種法改正公布</p> <p>許山茂隆日本医療法人協会会長就任</p> <p>神田博厚生大臣就任</p>	<p>日本、OECDに正式加盟</p> <p>新潟地震</p> <p>東海道新幹線開通</p> <p>東京五輪</p> <p>佐藤栄作内閣成立</p>
<b>昭和40年【1965】</b>	<p>1月</p> <p>2月</p> <p>3月 会員より「厚生大臣の職権告示による医療費引き上げの効力停止」地裁決定に反対善処方を小澤会長に要望</p> <p>4月</p>	<p>アンブル入り風邪薬死者続出</p> <p>渡辺栄市日本精神病院協会会長就任</p>	<p>米の北ベトナムへの爆撃開始</p>

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	第14回国際病院会議に参加  全国府県の高校に衛生看護専門課程の設置を推進の国庫補助を陳情	4健保組合は旧料金、その他は新料金の2本立て医療料金に 鈴木善幸厚生大臣就任  社会保障制度審議会、総報酬制と薬代半額自己負担見送りの答申  薬価基準改訂 医療保険基本問題対策委員会発足 東京高裁、2本立て医療費問題につき、健保連の申立て却下	阿賀野川流域有機水銀中毒患者発生  朝永振一郎ノーベル物理学賞 プロ野球ドラフト制
<b>昭和41年【1966】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	地方自治体独立採算制反対の決議 医療従業者不足数等調査  関東甲信越支部勉強会	健康保険法改正  厚生省内の医療保険基本問題対策検討委員会解散 中医協・診療報酬部会と医療経済・薬価調査部会設置  坊秀男厚生大臣就任	全日空機羽田沖に墜落 第1回物価メーター  総人口1億人突破  国民祝日法改正公布 国民年金法改正 ビートルズ日本武道館で公演
<b>昭和42年【1967】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	菊地副会長中医協委員就任 関東甲信越支部勉強会 常任理事制度の導入  「健保法抜本改正特別委員会」設置	青年医師連合、国家試験ボイコット  健保特例法(2年間時限法成立。外来時投薬1日1剤15円の患者負担新設。初診時負担200円に)  第1回医療経済実態調査実施 園田直厚生大臣就任 医療費改定(7.68%引き上げ)	第二次佐藤内閣成立  美濃部亮吉東京都知事に  第三次中東戦争 佐藤首相韓国訪問
<b>昭和43年【1968】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月	機関紙「全日本病院ニュース」創刊 「第1回洋上セミナーと香港の旅」	国保給付率7割 死亡診断書・死産証明書様式改正 東大医学部医師法改正に反対  日本初の心臓移植手術	運転免許証付の診断書廃止  イタイイタイ病を公害病認定 十勝沖地震 大気汚染防止法・騒音規正法施行 東大安田講堂紛争拡大

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
9月 10月 11月 12月		斎藤昇厚生大臣就任	水俣病と阿賀野川水銀中毒を公害病に正式認定  川端康成ノーベル文学賞受賞 3億円事件
<b>昭和44年【1969】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	「看護委員会」設置  病院危機突破大会開催  花輪理事、中医協委員就任	自民党、国民医療対策大綱を政府に提出  健保法改正 厚生省「スモン調査研究協議会」発足	東名高速道路全線開通  アポロ11号月面軟着陸  全国スモンの会結成
<b>昭和45年【1970】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	「全日本病院協会綱領」採決 齊藤理事、中医協委員就任 少数常任理事会制  「企画室」設置 第1次病院経済実態調査 第1回報道関係懇談会開催	日医、医療費値上げ問題で全国一斉休診 内田常雄厚生大臣就任 医療費改定(8.77%引き上げ)  神崎三益日本病院会長就任  中医協、医療経済実態調査の結果発表  厚生省、種痘ワクチン使用中止指示  整腸剤キノホルムの使用・販売中止通達	国産人工衛星初の打ち上げ成功 日本万国博覧会開幕        三島由紀夫が割腹自殺
<b>昭和46年【1971】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	第1回全国病院管理者協議会(国公私)開催  日医の健保医総辞退へ全面協力を決定  木下理事、中医協委員就任  中医協空転に対し、解体決議書、要望書 日本病院協会と第1回目の病院協会連絡会開催	厚生省が中医協に「審議用メモ」を配付  塩見俊二厚生大臣就任  「結核医療の基準」・「結核予防法」一部改正	沖縄返還協定調印 環境庁発足 ドル・ショック 変動為替相場制  円切り上げ実施(自由変動制1ドル308円)
<b>昭和47年【1972】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月	医療基本法案要綱に意見書 日本病院協会と第1回合同準備委員会開催 代議員会、日本病院協会と合同を承認、合同趣意書発表	医療費改定(13.7%値上げ)  多根要之助日本医療法人協会会長就任 塩見俊二厚生大臣就任	横井庄一元日本兵救出 札幌冬季五輪 山陽新幹線(大阪一岡山)開通 川端康成自殺

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
7月 8月 9月 10月 11月 12月	第1回東南アジア病院視察団派遣 全日病・日本病院協会、新団体設置に合意 代議員会、日本病院協会との合同を決議	老人福祉法改正 医療基本法案国会審議で廃案  斉藤邦吉厚生大臣就任	
<b>昭和48年【1973】</b> 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	中医協木下委員、診療スライド制提案        病院労務管理研修会	医薬品副作用の被害者救済制度研究会発足  健保法改正成立(高齢者医療費無料化) 幼児の大腿四頭筋短縮症多発	浅間山噴火 祝日法改正 政府、PCB使用中止へ  江崎玲於奈ノーベル物理学賞 オイルショック(トイレットペーパー・パニック) 関門橋開通 石油緊急事態宣言
<b>昭和49年【1974】</b> 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	代議員会で全日病の条件付解散を承認。両役員合同総会で新団体を「日本病院会」と決定	医療費改定(17.5%引き上げ)  東陽日本病院会会長就任 高橋清彦日本精神病院協会会長就任  医療費改定(16.0%再引き上げ)  福永健司厚生大臣就任 田中正巳厚生大臣就任	伊豆半島沖地震   三菱重工ビル爆破事件 台風16号多摩川決壊 佐藤栄作ノーベル平和賞 巨人軍長島茂雄引退
<b>昭和50年【1975】</b> 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	理事会で全日病の存続決定 代議員会、解散の白紙撤回と全日病の再建を承認	三種混合ワクチン予防接種の一時中止緊急通知  阿久津慎日本病院会会長就任 厚労省「新開発医療技術の点数」を決定  厚労省「地域医療計画検討会」設置	山陽新幹線(博多)開通 雇用保険法施行  エリザベス英女王夫妻来日 佐藤栄作前首相死去 沖縄国際海洋博覧会
<b>昭和51年【1976】</b> 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月	本部を東京都文京区本郷へ移転 在籍確認で会員数は1,067 新執行部を選出(菊地眞一郎会長)   准看廃止反対声明書	医療費改定(9.0%引き上げ) 健保法改正成立	ロッキード事件強制捜査   アントニオ猪木、モハメッド・アリ戦

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
8月	全日病施設賠償保険が発足	早川崇厚生大臣就任	田中角栄前首相逮捕 伊豆直下地震 台風17号長良川決壊
9月	第1回ハワイ研修旅行		
10月			
11月			天皇御在位50年記念式典開催
12月		渡辺美智雄厚生大臣就任	
<b>昭和52年【1977】</b>			
1月			
2月		予防接種法	
3月			
4月			成田空港の鉄塔撤去反対集会
5月			
6月		左奈田幸夫日本病院会会長就任	和歌山県で集団コレラ発生
7月	特定退職金共済制度が発足 比叡山研修会開催 第1回病院事務管理委員会開催		
8月			有珠山噴火
9月			日本赤軍日航機をハイジャック
10月		1歳6ヵ月児健康診査制度実施	
11月	「私的病院は全日病に結集を」(号外)	「被用者保険と地域保険の二本立て」 の意見書 小沢辰男厚生大臣就任 健保法改正成立	
12月			
<b>昭和53年【1978】</b>			
1月			
2月	本部を東京都千代田区三崎町へ移転	医療費改定(11.5%引き上げ、薬価基準2.2%引き下げ)	
3月	全日病ニュース100号記念号発行	高齢化社会の人的医療保障 提言	
4月			
5月			第30回世界保健デー
6月			新東京国際空港開港
7月		はしかの予防接種の義務化	宮城県沖地震
8月			世界初の体外受精児誕生
9月			日中平和友好条約調印
10月			
11月			
12月		橋本龍太郎厚生大臣就任	
<b>昭和54年【1979】</b>			
1月	全日病九州研修会開催		共通一次試験実施
2月			
3月			
4月			エジプト・イスラエル平和条約
5月			日本電気「パソコンPC-8001」を発表
6月			
7月			ソニー「ウォークマン」第1号を発売
8月			東名高速日本坂トンネルで玉突き
9月			阿蘇山中岳噴火
10月	第1回全日病セミナーを開催	天然痘根絶とWHO宣言	
11月		野呂恭一厚生大臣就任	
12月		予防接種実施規則一部改正	
<b>昭和55年【1980】</b>			
1月			
2月	全日病九州研修会を開催		
3月			
4月		内藤景岳日本病院会会長就任 斉藤茂太日本精神病院協会会長就任	
5月			

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	定款一部変更について認可(英文名、事務所等) 熊本県支部、宮崎県支部結成  創立20周年記念式典開催	齊藤邦吉厚生大臣就任  園田直厚生大臣就任  健保法改正成立	モスクワ五輪不参加を決定 気象庁「降水確率予報」を開始  イラン・イラク戦争始まる  ボイジャー1号土星に接近
<b>昭和56年【1981】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	医療費引き上げ総決起大会  「医療法改正案要綱」反対声明    東北支部結成	村山達雄厚生大臣就任 診療報酬改定(8.1%引き上げ、薬価 18.6%引き下げ)  予防接種実施規則の一部改正  厚生省、国民医療費適正化総合対策 本部設置 森下元晴厚生大臣就任	神戸ポートアイランド博覧会  スペースシャトル・コロンビア打ち上げ  英チャールズ皇太子、ダイアナ妃と 結婚  福井謙一ノーベル化学賞
<b>昭和57年【1982】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	四病院団体連絡協議会(四病団)が発足    ドック、全国法人総連合と契約	花岡堅而日本医師会会長就任 神尾友彦日本医療法人協会会長就任  老人保険法衆議院可決  林義郎厚生大臣就任	ホテル・ニュージャパン火災 日航機羽田沖墜落  500円硬貨発行 東北新幹線(大宮-盛岡間)開業  北炭夕張炭鉱閉山  戸塚ヨットスクールで中学生が死亡
<b>昭和58年【1983】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	協会旗シンボルマークの制定  新執行部選出(木下二亮会長)	薬価基準4.9%先行引き下げ 診療報酬点数改定(老人保健診療報 酬点数新設に伴う微調整0.294%)  古森近日本医療法人協会会長就任 諸橋芳夫日本病院会会長就任  レインボーシステム段階的導入発表 「医療費亡国論」  日本初の体外受精児誕生  渡部恒三厚生大臣就任	日本初の体外受精による着床成功  日本海中部地震  伊豆諸島三宅島噴火
<b>昭和59年【1984】</b>			
1月 2月 3月 4月	健保改悪反対ポスター作成	医療保険改革案決定  診療報酬改定(2.79%、薬価16.6%引き 下げ) 羽田春兔日本医師会会長就任	



年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	全国病院結集のための時局講演会 無料職業紹介事業開設が認可 ミクロネシアへ医療援助 第1回日韓医療制度セミナー開催 日本医療教育財団と提携	適正な医師数を検討する委員会発足決定。  健保法改正成立  増岡博之厚生大臣就任	
<b>昭和60年【1985】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	カード3社と提携、病院にクレジットカード導入 徳島県支部結成 大阪府支部結成 神奈川県支部結成 長崎県支部結成 創立25周年記念式典開催	診療報酬改定(医科3.5%、薬価6%引き下げ)  厚労省が政管健保、組合保険の黒字を発表 原田正日本医療法人協会会長就任  今井勇厚生大臣就任 第1次医療法改正成立(都道府県医療計画制度の導入)	科学万博一つくば'85  日本電信電話株式会社(NTT)、日本たばこ産業株式会社(JT)発足  大鳴門橋開通  日航機群馬県山中に墜落
<b>昭和61年【1986】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	老人保健法改悪反対全国医師大会への参画 岐阜県支部結成 山形県支部結成 東京都支部、京都府支部結成 北海道支部、山口県支部結成 「ヘルストODAY」創刊 鹿児島県支部、高知県支部、岩手県支部結成 秋田県支部結成 愛知県支部、富山県支部結成 福島県支部結成	栗田正文日本精神病院協会会長就任 診療報酬改定(医科2.5%引き上げ、薬価5%引き下げ) 桑名昭治日本医療法人協会会長就任  斉藤十朗厚生大臣就任  老人保健法改正	ニューヨーク株式大暴落 スペースシャトル・チャレンジャー爆発 天皇在位60年記念式典 東京サミット開催  伊豆大島三原山噴火
<b>昭和62年【1987】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	鳥根県支部結成 新執行部選出(田蒔孝正会長) 夏期研修会始まる 岡山県支部結成 青森県支部結成	厚労省が福祉医療構想を国保問題懇談会に提示 藤本孝雄厚生大臣就任	国鉄民営化(JR発足)  世界人口50億人を突破  世界的株価大暴落(ブラック・マンデー) 利根川進ノーベル医学・生理学賞

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
<b>昭和63年【1988】</b>			
1月			
2月			
3月		在宅看護、入浴サービスに厚労省がガイドライン	青函トンネル開通
4月	定款、定款施行細則改正	河崎茂日本精神病院協会会長就任 診療報酬改定(医科3.8%引き上げ、薬価10.2%引き下げ)	マル優制度廃止
5月			
6月			
7月		厚生大臣官房に老人保健福祉部が発足	
8月	沖縄県支部結成		「なだしお」・「第一富士丸」衝突
9月	三重県支部結成		ソウル五輪
10月			
11月		「高齢者が安心して暮らせるまちづくり懇談会」設置	
12月	健保連と「日帰り人間ドック」の契約	小泉純一郎厚生大臣就任	消費税成立
<b>平成元年【1989】</b>			
1月		本多徳児日本医療法人協会会長就任	昭和天皇崩御、皇太子即位 新元号「平成」公布
2月	消費税説明会		
3月			
4月		消費税転嫁のため診療報酬0.84%改定(診療報酬0.12%、薬価0.72%)	税制改正(消費税3%等)実施
5月			
6月			第二次天安門事件
7月			幼女連続誘拐殺人事件
8月	健康保険組合連合会と日帰り人間ドックの契約	戸井田三郎厚生大臣就任	
9月		「臨時脳死および臓器移植調査会」設置法案成立	
10月	全日病新定款厚生省認可		
11月			
12月			ベルリンの壁崩壊
<b>平成2年【1990】</b>			
1月			
2月	全日病定款施行細則、職員規程など改正発表	津島雄二厚生大臣就任	国際花と緑の博覧会開幕
3月			
4月			日米構造協議開催
5月			
6月			
7月			
8月	ゼンセン同盟と「日帰り人間ドック」の契約		イラク軍がクウェートを侵攻・制圧
9月	「看護婦不足非常事態宣言」まとめる		
10月		埼玉県浦和市の私立病院でO-157検出	
11月	「全日本病院協会雑誌」創刊	看護婦が増員を求め全国スト	天皇明仁即位の礼
12月		下条進一郎厚生大臣就任	日本国憲法下で初大嘗祭
<b>平成3年【1991】</b>			
1月			湾岸戦争勃発
2月			美浜原発2号機原子炉自動停止
3月			
4月		東海大学医学部付属病院で安楽死事件	牛肉・オレンジの輸入自由化
5月	育児休業法を憂慮、小野田副会長が労働省面談		雲仙普賢岳噴火土石流発生
6月			
7月			
8月			
9月		老人保健法改正案成立(老人訪問看護創設、介護に着目した公費負担引き上げの3割から5割)	

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
10月 11月 12月	創立30周年記念式典開催	山下徳夫厚生大臣就任	ソ連解体(ゴルバチョフ大統領辞任)
<b>平成4年【1992】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	田葺孝正会長急逝。臨時役員会にて秀嶋宏会長代行を承認。 新執行部選出(秀嶋宏会長) 「全日本病院協会30周年記念誌」発行 婦人部会設置を決定	脳死臨調が最終答申 丹羽雄哉厚生大臣就任 老人訪問看護制度 村瀬敏郎日本医師会会長就任 第2次医療法改正成立 医療提供の理念規定の整備、特定機能病院および療養型病床群の制度化等	暴力団対策法が施行 国連環境開発会議(地球サミット)開催 学校週5日制開始
<b>平成5年【1993】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	第1回事務長研修会開催 医療従事者感染症対策指導者研修会開催 日本民間病院連絡協議会(民病協)設立 兵庫県支部、香川県支部結成	厚生省新3種混合(MMR)ワクチンの中止 大内啓伍厚生大臣就任	Jリーグ開幕 皇太子結婚の儀 北海道南西沖地震 台風13号鹿児島で集中豪雨
<b>平成6年【1994】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	婦長研修会 看護補助者研修会	診療報酬改定(医科5.2%改定、薬価6.6%引き下げ) 「21世紀型福祉ビジョン—少子・高齢社会に向けて」 神尾友和日本医療法人協会会長就任 井出正一厚生大臣就任 「新たな高齢者介護システムの構築を目指して」「新ゴールドプラン」策定	政治改革法案可決 名古屋空港で中華航空エアバス墜落 ドイツ介護保険法成立 村山富市政権誕生 松本サリン事件 関西国際空港が営業開始 北海道東方地震 大江健三郎ノーベル文学賞 三陸はるか沖地震
<b>平成7年【1995】</b>			
1月 2月 3月 4月	中小病院機能評価を調査 阪神淡路大震災支援活動 埼玉県支部結成	遺伝子治療計画承認	阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件 オウム真理教麻原彰晃を逮捕

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	ドイツ介護保険現地視察 創立35周年記念式典開催	森井忠良厚生大臣就任	新食糧法施行 住専処理に財政資金投入決定
<b>平成8年【1996】</b>			
1月 2月  3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	「第1回防災フォーラム」開催   会員向けパソコン網設置を決定  オーストラリア医療視察団派遣	菅直人厚生大臣就任 菅厚相 薬害エイズ事件で国の責任を認める  坪井栄孝日本医師会会長就任  健康保険法の改正 大坂堺市でO-157大量感染  小泉純一郎厚生大臣就任	ペルー・日本大使公邸人質事件
<b>平成9年【1997】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	東京都病院協会発足 第1回老健設立・運営のための研修会開催     全日病ホームページを試験運用	藤原恒弘日本医療法人協会会長就任    健康保険法改正 臓器移植法施行  介護保険法成立 第三次改正医療法成立(診療所への療養型病床群の設置、地域医療支援病院制度の創設等)	ナホトカ号重油流出 神戸連続児童殺傷事件  消費税5%に増税  香港、イギリスから返還 ダイアナ元英皇太子妃事故死 マザー・テレサ死去 金正日、朝鮮労働党総書記に就任
<b>平成10年【1998】</b>			
1月 2月 3月 4月  5月 6月 7月 8月 9月  10月 11月 12月	       第1回コーディング講習会開催  中小病院のあり方に関するプロジェクト委員会報告書説明会及びDRG、DRG/PPSに関する研修会開催	診療報酬改定実質1.3%マイナス改定  宮下創平厚生大臣就任  感染症予防法成立、感染症予防対策一元化	長野冬季五輪  日本版金融ビッグバン 明石海峡大橋開通  和歌山毒物カレー事件 北朝鮮のテポドン三陸沖に着弾。  特定非営利活動促進法施行
<b>平成11年【1999】</b>			
1月 2月 3月	新執行部選出(佐々英達会長)	初の脳死臓器移植実施 規制緩和により医薬品の一部が医薬部外品となる	日本銀行ゼロ金利政策実施



年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
10月 11月 12月	「病院のあり方に関する報告書(2002年版)」発表		小柴昌俊 ノーベル物理学賞 田中耕一 ノーベル化学賞
<b>平成15年【2003】</b>			
1月			北朝鮮が核拡散防止条約脱退
2月			
3月		医療保険制度および診療報酬体系に関する基本方針	イラク戦争開戦
4月		SARSが、新感染症に指定、改正健康保険法施行(70歳未満の本人3割負担に引き上げ)	郵政事業庁が日本郵政公社に
5月		健康増進法施行	個人情報保護法成立
6月			
7月	「DPC講習会」開催 宮城県北部地震被害対策視察		
8月			池田小学校児童殺害事件
9月			自由党が民主党に合流
10月	「病院のあり方に関する報告書(2004年版)」承認 四病協「第1回医療安全管理者養成課程講習会」開催		
11月	四病協「第1回感染管理講習会」開催		
12月	四病協「臨床研修指導医養成課程講習会」 機能評価受審支援相談事業を開始		地上デジタル放送が3都市で開始
<b>平成16年【2004】</b>			
1月	四病協「医療の質と安全講演会」開催		自衛隊イラク派遣開始
2月			
3月	「医療の質向上を目指して」シンポジウム開催 「診療アウトカム評価事業説明会」開催	鮫島健日本精神科病院協会会長就任	
4月		診療報酬改定(本体据え置きと薬剤・医材の引き下げ)、医師の卒後研修が義務化 植松治雄日本医師会会長就任	
5月			
6月			
7月			
8月	「DPC導入早わかり講習会」開催		
9月	新潟県中越沖地震に対する医療救護班派遣	尾辻秀久厚労大臣就任	新潟県中越地震
10月	「病院のあり方に関する報告書(2004年版)」発表	医療事故報告制度開始	
11月			
12月			スマトラ島沖地震
<b>平成17年【2005】</b>			
1月			
2月			京都議定書発効
3月	日本病院団体協議会発足		愛知万博「愛・地球博」
4月			JR福知山線脱線事故
5月			
6月		改正介護保険法成立(10月一部施行、介護施設居住費・食費が全額利用者負担に)	
7月			
8月			「カトリナ」が米国フロリダ州に上陸
9月			
10月		川崎二郎厚労大臣就任	
11月	「第1回看護部門長研修コース」開催		
12月		厚労省「療養病床の将来像について(案)」発表	

年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
<b>平成18年【2006】</b>			
1月	米国メリーランド病院協会(MHA)の診療アウトカム評価事業(QIP)と共同研究開始		
2月	認定個人情報保護団体に医療提供側として初めて認定 四病協「個人情報保護法講習会」開催		
3月			
4月	健保連と日帰りに加えて一泊人間ドックの契約	診療報酬改定(▲3.16%)、診療報酬 本体部分の大幅マイナス改定(▲ 1.36%) 改正介護保険法施行 唐澤祥人日本医師会会長就任	FIFAワールドカップドイツ大会
5月	「第1回医療機関トップマネジメント研修コース」開催		
6月		がん対策基本法成立 第五次医療法改正公布(運営基盤の 強化、医療の質の向上、運営の透明 性、地域医療における役割等) 政府「骨太の方針2006」を閣議決定	北朝鮮テポドン2号など連射
7月			
8月			
9月	「機能評価受審支援セミナー」開催	柳澤伯夫厚労大臣就任	タイでクーデター勃発
10月			
11月	「個人情報保護Q&A」刊行		
12月			
<b>平成19年【2007】</b>			
1月			
2月			
3月	新執行部選出(西澤寛俊会長) 「病院のあり方に関する報告書(2007年版)」発表	10代のタミフル使用中止指示	スマトラ島中部地震 能登半島沖地震 米韓両政府FTA合意
4月	「DPCセミナー」開催		
5月		「終末期医療の決定プロセスに関する ガイドライン」発表 緊急臨時的医師派遣システム発足	
6月	全日病・医法協「医療安全管理者養成課程講習会」「医療安 全管理者継続講習(演習)会」開催(～9月)		
7月	「特定保健指導実施者育成研修コース」開催		
8月	「MEDI-TARGET説明会」開催	舩添要一厚労大臣就任	ペルー沖地震 スマトラ島沖地震
9月	西澤会長が中協委員に選出		
10月	「特定保健指導実施者育成研修コース」開催 「病院情報システムにおけるセキュリティセミナー」開催		
11月	「終末期医療の指針」発表 「診療情報管理担当者の能力向上研修会」開催 「病院経営改善講座」開催		チリ地震
12月			
<b>平成20年【2008】</b>			
1月	「MEDI-TARGET ユーザーズミーティング」開催 「特定保健指導専門研修コース」開催	薬害C型肝炎被害者救済法成立	
2月	「日本の医療・介護を考える」発表		
3月			
4月		後期高齢者医療制度開始	
5月			
6月		安心と希望の医療確保ビジョン示される	中国四川省で地震 岩手・宮城内陸地震
7月	「第1回医師事務作業補助者研修会」開催		
8月	「第1回後期高齢者診療に係る研修会」開催		
9月	「特定保健指導アドバンス研修」開催 「第1回病院における院内暴力等への対応に関する研修」開催		北京五輪 リーマン・ブラザーズ経営破綻
10月			
11月		全国健康保険協会管掌健康保険(協 会健保)発足	
12月			
<b>平成21年【2009】</b>			
1月			オバマ米国大統領就任
2月	「若手経営者、経営者候補ネットワークの会」開催		



年号 【西暦】	全日病の主な出来事	医療関係の主な出来事	世界・日本の主な出来事
3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	鳥インフル対策で会員に呼びかけ 「終末期医療ガイドライン」発表  兵庫県集中豪雨に対する医療救護班派遣	日野頌三日本医療法人協会会長就任  厚労省新型インフル対策推進、臓器移植法一部改正案(A案)  長妻昭厚労大臣就任 委員再任問題で中医協1ヵ月の空白	GMが連邦破産法11条適用申請  マイケル・ジャクソン逝去 民主党政権誕生 オバマ米国大統領ノーベル平和賞  太陽系外惑星GJ1214b発見
<b>平成22年【2010】</b>			
1月 2月 3月 4月 5月  6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月	「後期高齢者診療に係るワークショップ研修」開催 佐々名誉会長死逝  「ホスピタルフィーのあり方(報告)」 「第1回欧州私立病院連盟学会」出席     公益社団への移行作業承認	山崎學日本精神科病院協会会長就任  堺常雄日本病院会会長就任 原中勝征日本医師会会長就任    細川律夫厚労大臣就任	ハイチで地震   上海国際博覧会開催 宮崎家畜伝染口蹄疫発生 ギリシャ危機 「はやぶさ」地球帰還・カプセル回収  イラク駐留米軍撤退完了 尖閣諸島中国漁船衝突事件  APECの首脳会議開催
<b>平成23年【2011】</b>			
1月 2月 3月	創立50周年記念式典		東日本大震災 福島原発事故

社団法人 全日本病院協会 50年史

平成23年6月2日発行

**発行** 社団法人 全日本病院協会

〒101-8378 東京都千代田区三崎町3-7-12 清話会ビル

電話 03(3234)5165 FAX 03(3234)5206

<http://www.ajha.or.jp/>

**編集** 谷口企画G

**印刷** 札幌大同印刷株式会社